GMO-FG IRイントロダクション

GMOフィナンシャルゲート株式会社
(東証プライム市場　4051)

GMO FINANCIAL GATE

https://gmo-fg.com/

GMO FINANCIAL GATE

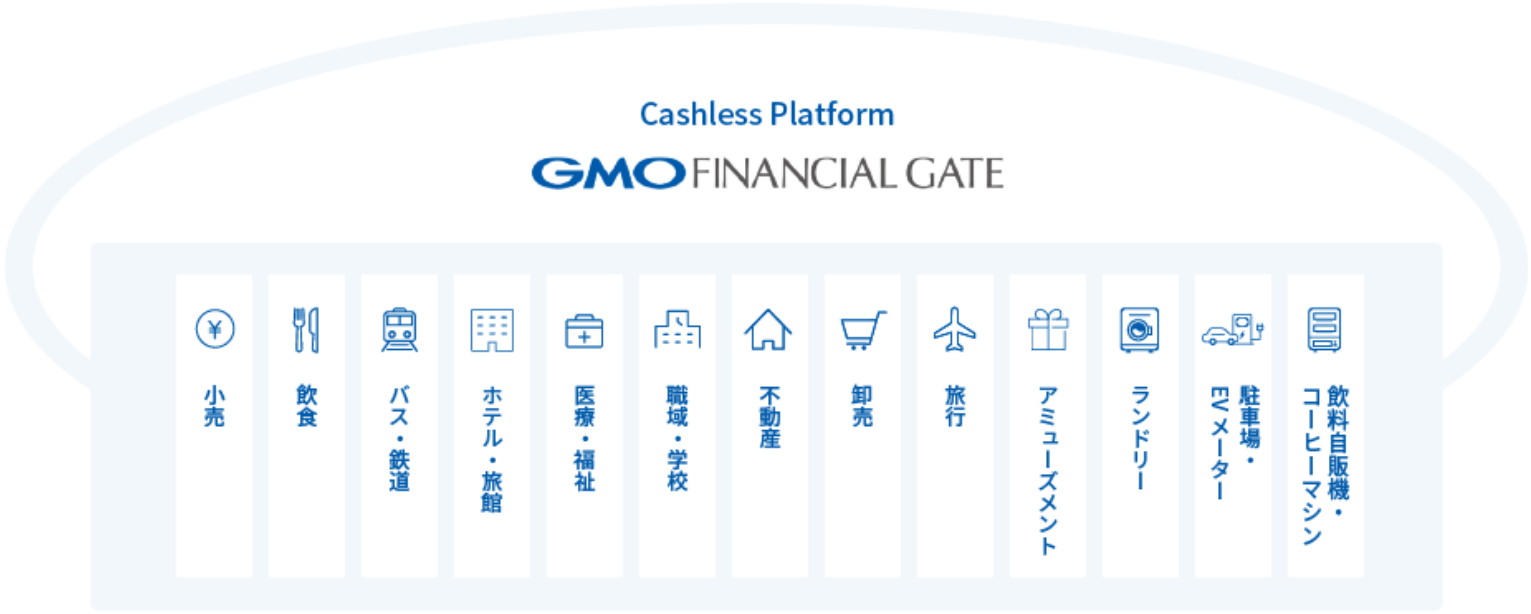
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

Vision

決済に変革　社会を変える
No.1 キャッシュレスプラットフォーマーへ

あらゆる業種業態のお客様の「決済という行為」を、もっと便利で簡単に、さらには事業に融合させることでより良い社会を創り出す。

当社はそれらを支援し、No.1 キャッシュレスプラットフォーマーを目指しています。



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

沿革

2010年GMOインターネットグループ入りし、成長を加速
2020年にIPO、2025年に東証プライム上場

1999 設立

2000

2010 ■ 1月
GMOペイメントゲートウェイ株式会社による持ち株会社化

2012

2015 ■ 4月
GMOフィナンシャルゲートへ商号変更

2016 ■ 9月
グローバルカードシステム（現 GMOカードシステム）の子会社化

2018

2019 ■ 8月
三井住友カードと共同でGMOデータ設立

2020 ■ 7月
東証マザーズ上場 IPO

2024

2025 ■ 6月
東証プライム上場

決済センター

2000年1月
決済センター事業開始



アクワイアリング

2012年7月
包括代理事業提供開始



決済端末

2016年1月
決済端末提供開始

2018年1月
無人端末提供開始



端末レス

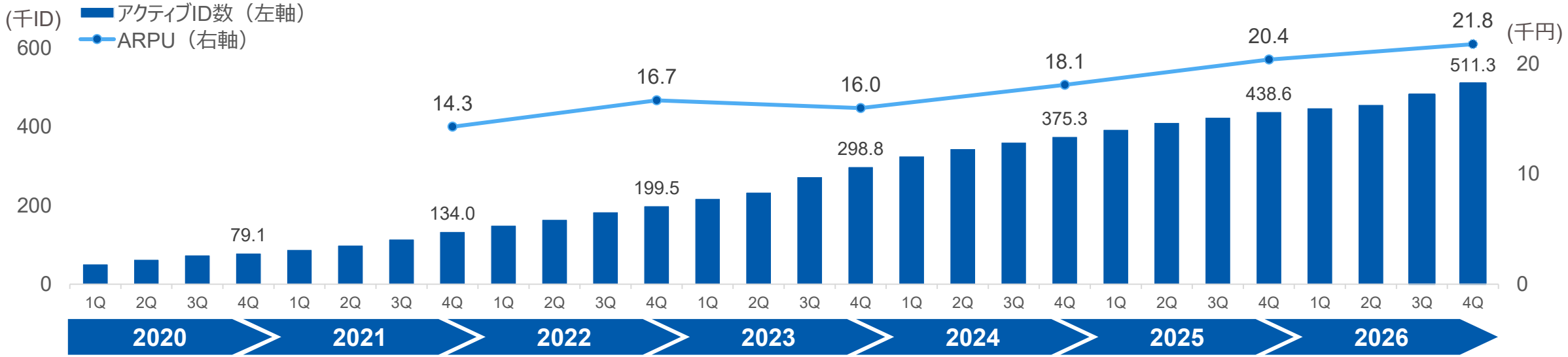
2024年5月
端末レス提供開始



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

世の中の潮流を先取りしてきたGMO-FG

アクティブID数・ARPU向上のアクションを戦略的に実行
各業種・業態で得た教訓を次の案件獲得に活用

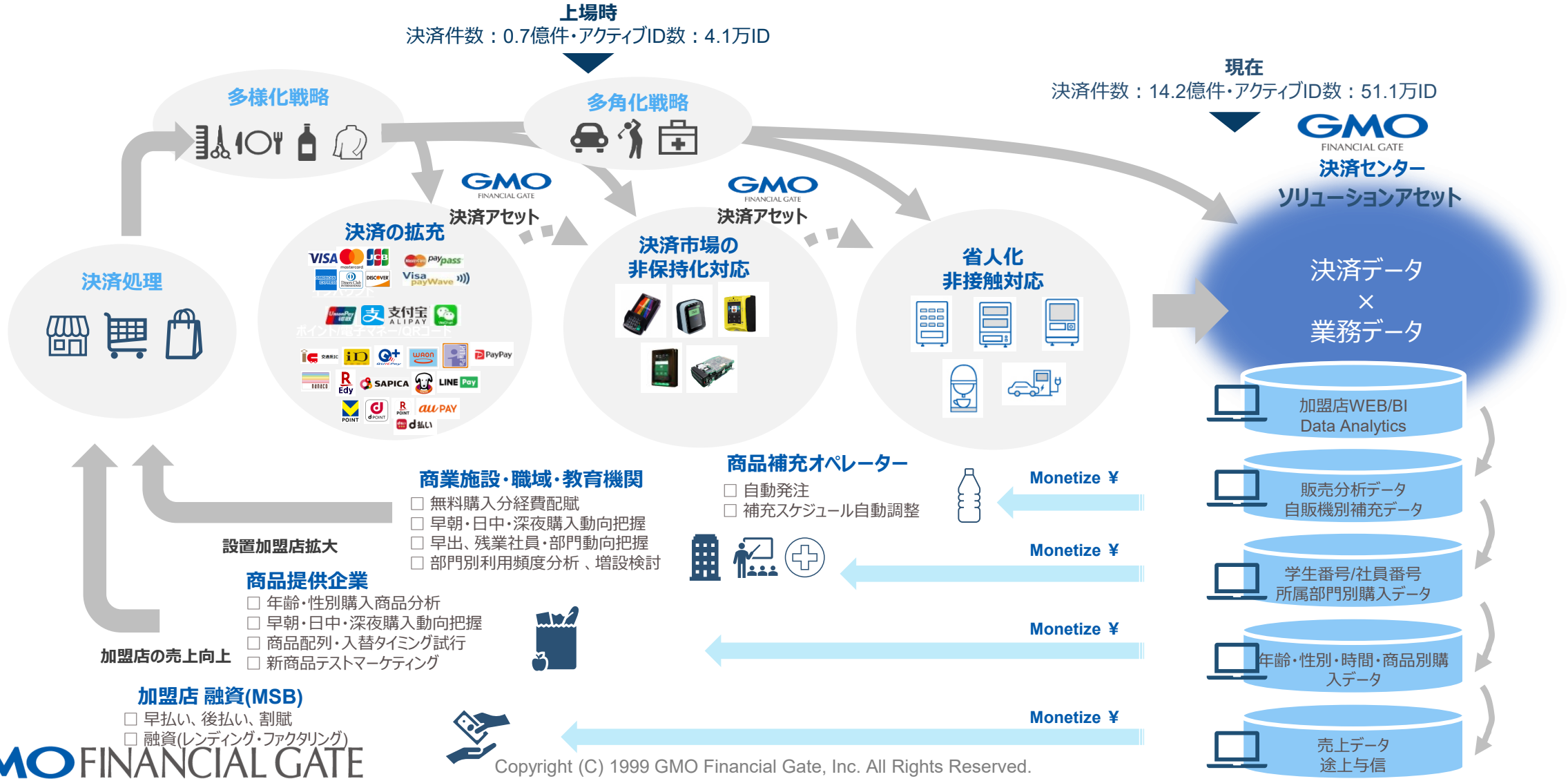


世の中の潮流	GMO-FGの戦略
コロナ禍	• 生活領域の重要性が高まる →**生活領域の開拓を先行**
東京五輪 / インバウンド回復	• インバウンド回復の兆し →**商業施設への提案開始** →**stera transitの展開開始**
インバウンド回復	• 訪日需要の拡大 →**stera transitの本格展開**
人手不足の加速	• OMO/DX・省人化ニーズ増加 →**デジタルレストラン byGMO 提供開始**
大阪万博	• 国内外からの来訪拡大が予想 →**大手商業施設の本格稼働**

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

上場時(2019)におけるエコシステム構想

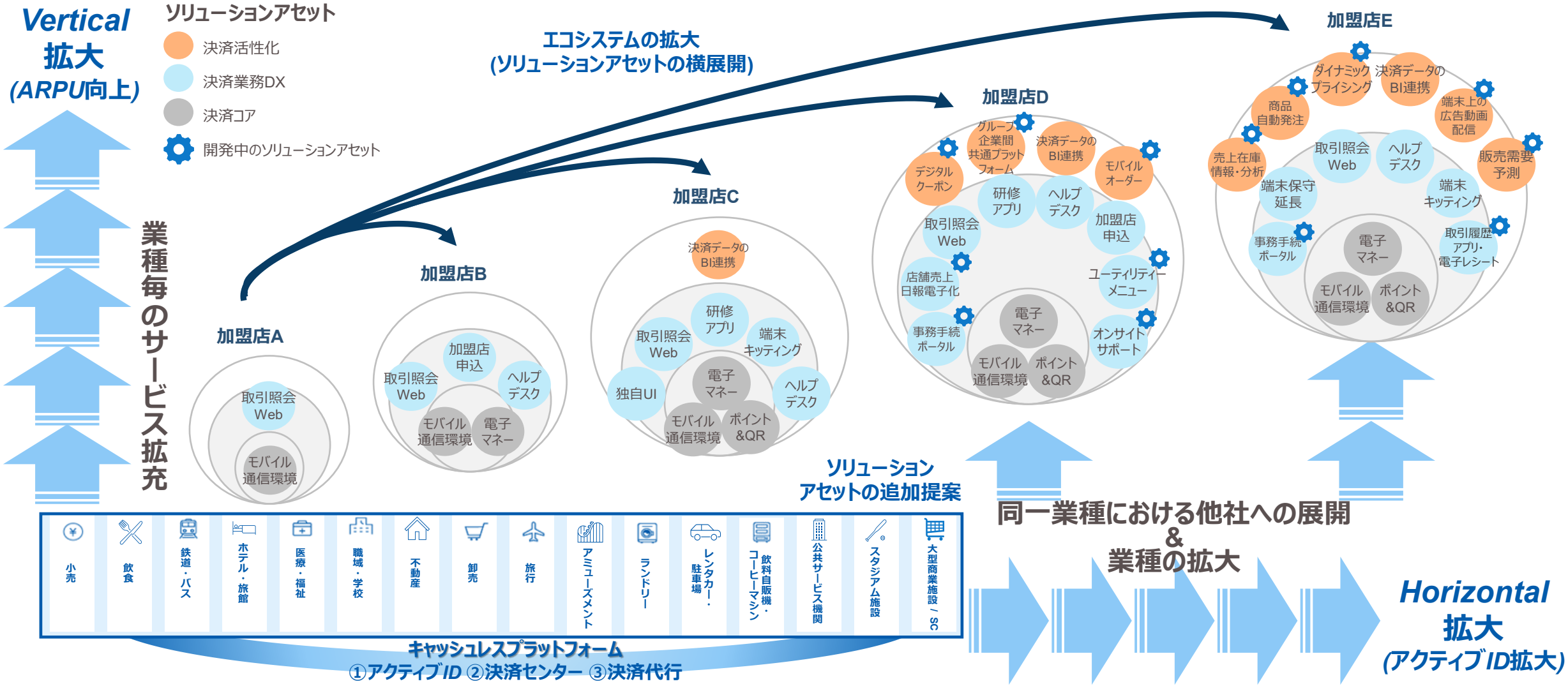
エコシステム構想は予定通り進捗。あらゆる決済シーンのアクティブIDが拡大
足元はより付加価値の高いソリューションアセット開発・提供に注力



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

エコシステムの拡大

Horizontal：決済コア×ソリューションの横展開により着実にアクティブIDを積み上げ
Vertical：決済業務DX×決済活性化ニーズ対応を強化。エコシステム形成によるARPU向上



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

利益成長に向けたロードマップ

33年営業利益目標100億円に向けて前倒しで進捗

施策

事業戦略

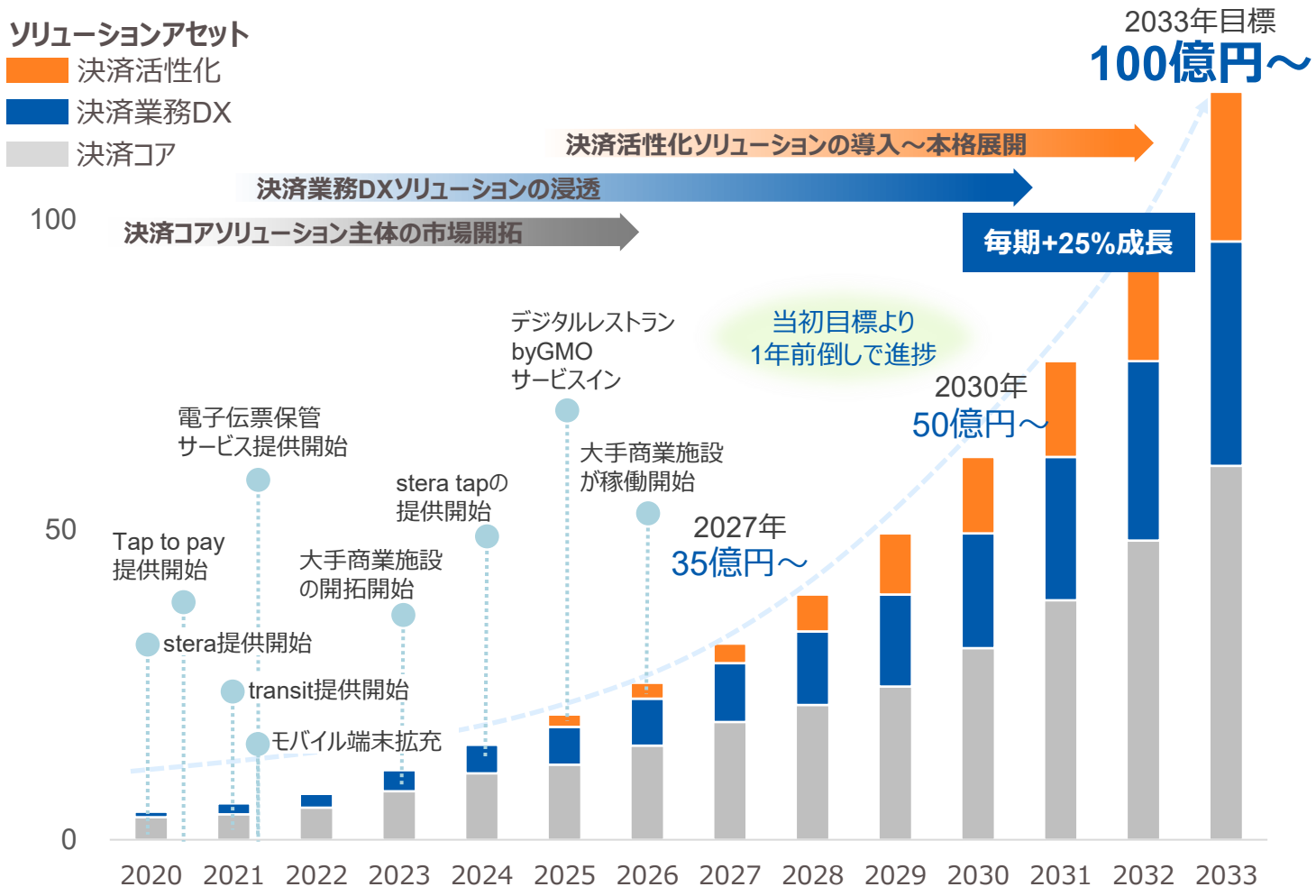
1. 次世代マルチ決済端末の投入による多業種/高成長企業の獲得
2. 非接触化（タッチ決済）・無人化対応によるIoT決済の拡大
3. QR・ポイント等とのアライアンス拡充による大口顧客の獲得
4. 決済センター機能強化による付加価値の拡充

Cashless 2.0

中長期施策

	決済コア	決済業務DX	決済活性化
新端末&端末レス			
Transit			Transit
IoTアライアンス			
Tap to Pay / SME			
業務DX支援			
マーケティング支援			
大型商業施設 / SC			

営業利益　成長曲線



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

営業利益100億円のドライバー

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

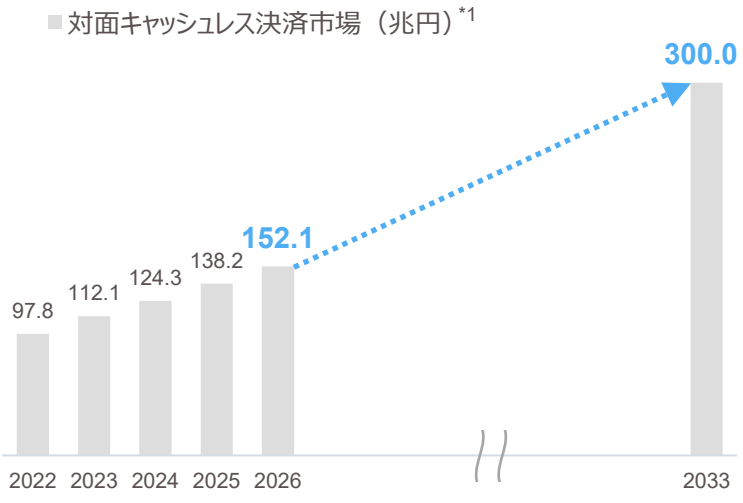
2033年営業利益100億円のドライバー

市場成長×シェア拡大で営業利益100億円+を実現

2033年9月期 営業利益 **100億円~** ＝ 2026年9月期 営業利益実績 **29億円** × 市場の拡大 **1.9~** × シェア拡大 **1.9**

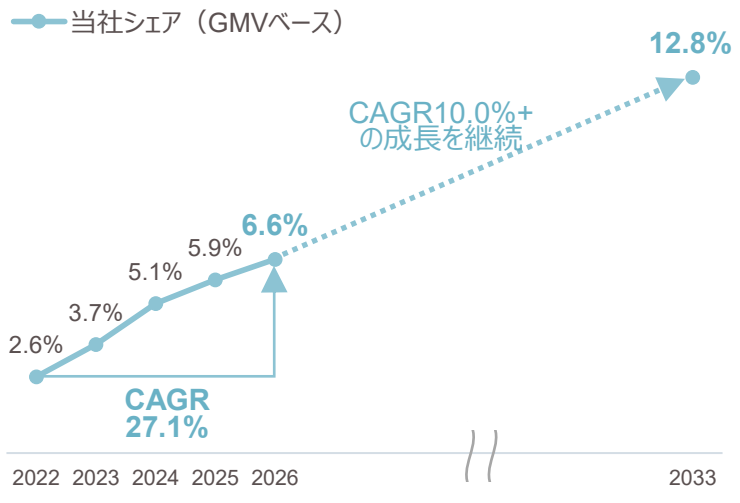
市場の拡大

300.0~ / 152.1 ＝ 約**1.9**倍~



シェア拡大

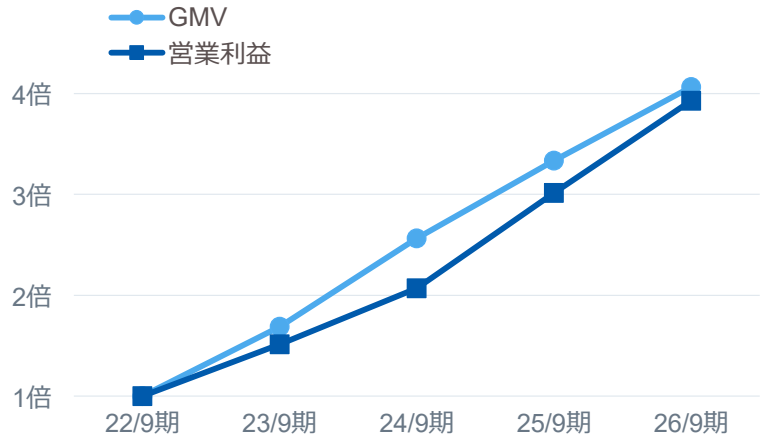
CAGR 10%^{7年} ＝ 約**1.9**倍



（参考）GMVと営業利益推移

GMV ：約**4.1**倍

営業利益 ：約**3.9**倍



*1) 矢野経済研究所「2024年版 国内キャッシュレス決済市場の実態と将来予測」 矢野経済研究所「2024年版 オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測」 に基づき当社試算

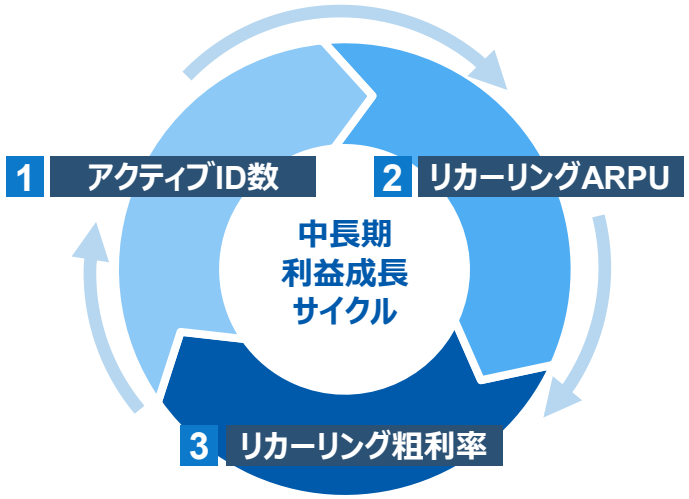
GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

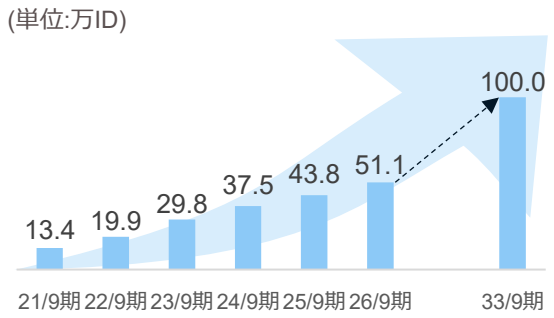
2033年9月期営業利益100億円のドライバー

営業利益100億円を実現するための方程式

2033年9月期営業利益 **100億円～** ＝ リカーリング（アクティブID数 **100万ID** × ARPU **2.5万円** × リカーリング粗利率 **70%**） ＋ イニシャル粗利 － 販管費

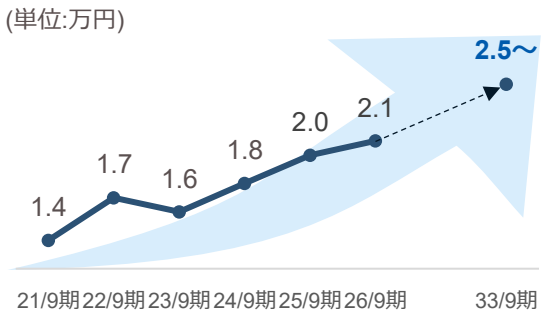


1 アクティブID数



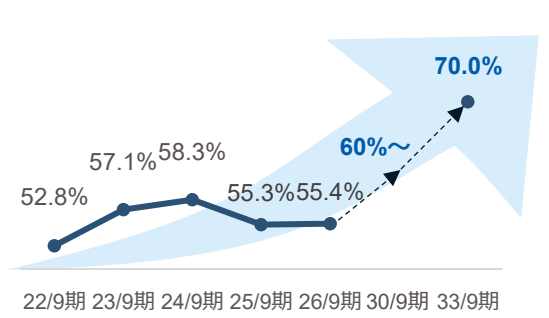
- 生活領域加盟店の獲得継続
- 業種・業態別に強みを持つアライアンスの拡充
- SME領域のベーストレンド底上げ

2 リカーリングARPU



- 生活領域加盟店の獲得継続
- エコシステムの拡大
  (決済業務DX、決済活性化)

3 リカーリング粗利率



- 共通アセットの開発継続
- AIの活用による開発の自動化・効率化推進
- ID当たりの採算性KPIの管理

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

ドライバー① アクティブID数

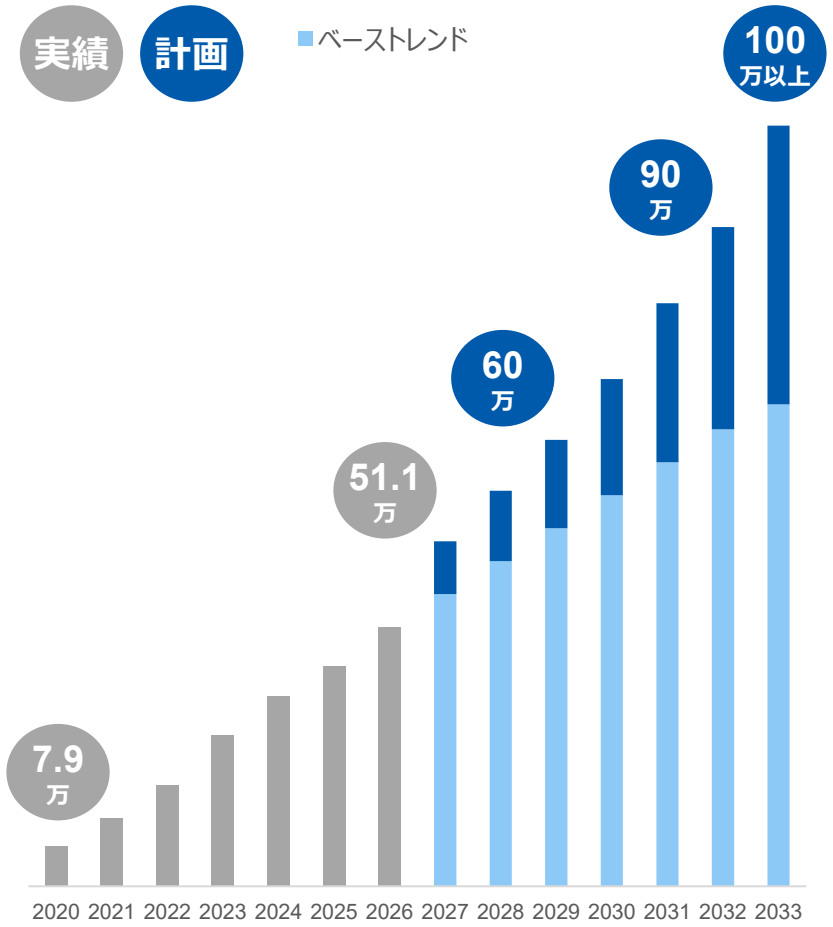
GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

アクティブID数の拡大ポテンシャル

100万以上積み上げるべく、領域別のアクティビティを継続

アクティブID数の積み上げイメージ



カテゴリ別　戦略・獲得ポテンシャル

	領域	獲得戦略	最大ポテンシャル
1	大手商業施設	• 大手2社導入を突破口に、業界全体へ広く横展開	20万
2	カード会社	• Visa・三井住友カードと協働し、生活密着型小売を攻略	50万
3	端末レス	• キャッシュレス未対応領域を開拓	30万
4	無人・IoT	• 駐車場・アミューズメント等無人IoTで獲得	20万
5	モバイルPOSベンダー	• stera packで中小・ロングテールを面で獲得	40万
			最大計160万

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

ドライバー② リカーリングARPU

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

リカーリングARPU拡大施策

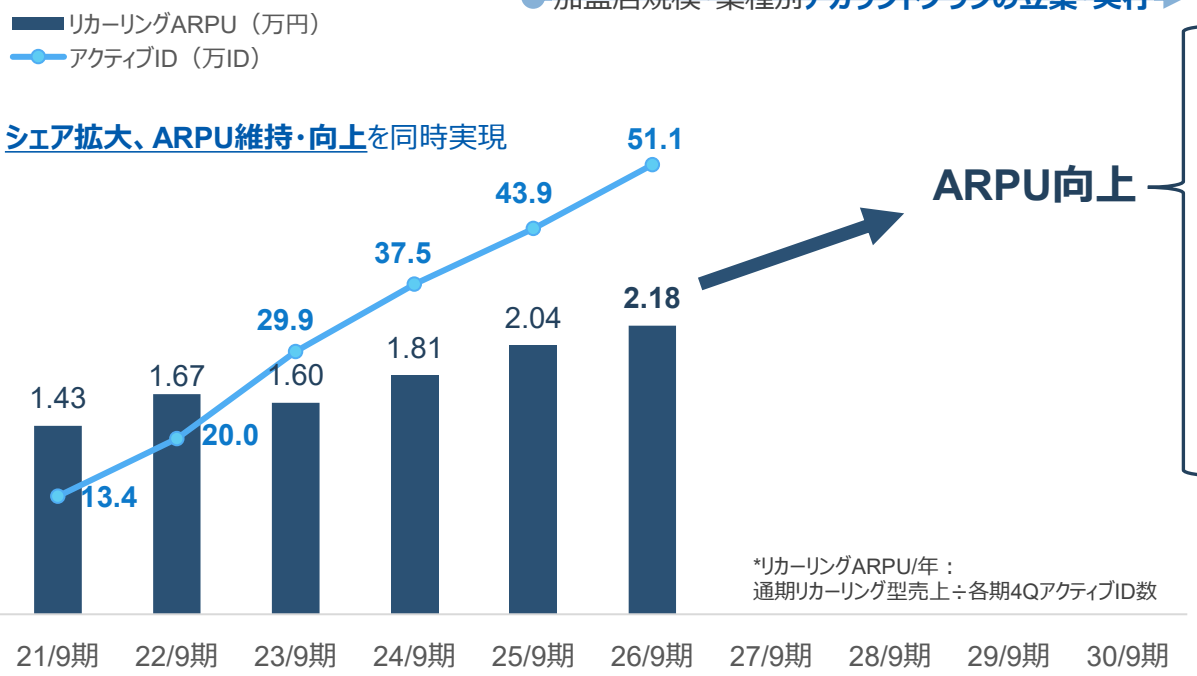
大手加盟店：高ARPUが見込める生活領域の開拓継続
SME　　：稼働率の高い加盟店を中心に効率的に拡大

リカーリング売上 ＝ アクティブID数 × **ARPU**

リカーリングARPU/年 推移*

過去 | 現在 | 未来

stera提供開始 / シェア拡大推進 → stera継続注力 / 利用シーンや機種の拡大 →
サービスラインナップ強化 / Vertical展開 / 大手加盟店獲得 →
加盟店規模・業種別**アカウントプランの立案・実行** →



*リカーリングARPU/年：
通期リカーリング型売上÷各期4Qアクティブ ID数

ARPU向上施策

大手加盟店

ARPU向上　リカーリングARPU:**2万円~**

- **生活領域を中心に獲得し、更なるアクティブID数増加とARPU向上を目指す**
  - 商業施設：大手企業グループを中心とした高アクティビティ・拡張性のあるID獲得
  - 無人・IoT：多様な設置ロケーションに応じた柔軟設計
  - 業務DX・POS・ポイント連動による省人化・集客支援

約2倍 のリカーリングARPU

SME

ARPU維持　リカーリングARPU:**1~1.5万円**

- **サブスクリプションモデルのパッケージ商品提供を拡充**
- **稼働率の高い小~中規模加盟店をターゲティング**
  - 業種・業態の課題を熟知したアライアンス先との協働
  - 小規模・スタートアップ企業の起業・店舗展開支援

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

エコシステムの拡大

決済業務DX・活性化ソリューションを用いて加盟店課題解決をサポート
加盟店と共に成長を実現

決済コア　決済業務DX　決済活性化

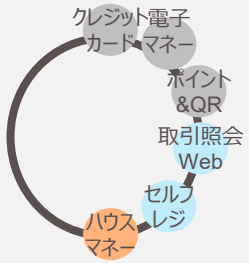
スーパー

エコシステム

Before

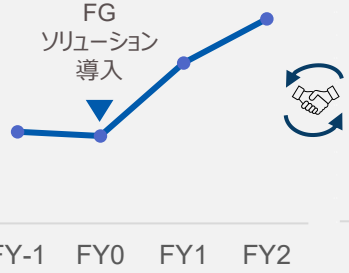


After



導入前後の定量効果

加盟店売上高

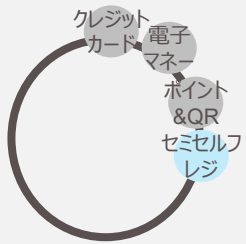


FG ARPU

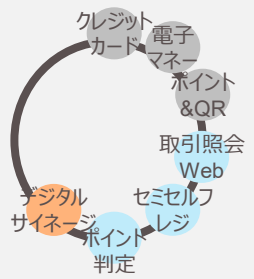


生活用品店

Before



After



加盟店売上高

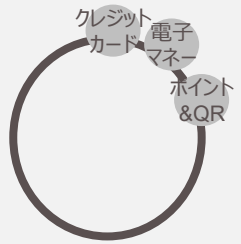


FG ARPU



大型商業施設(大手企業グループ)

Before



After



加盟店売上高



FG ARPU



GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

ドライバー③ リカーリング粗利率

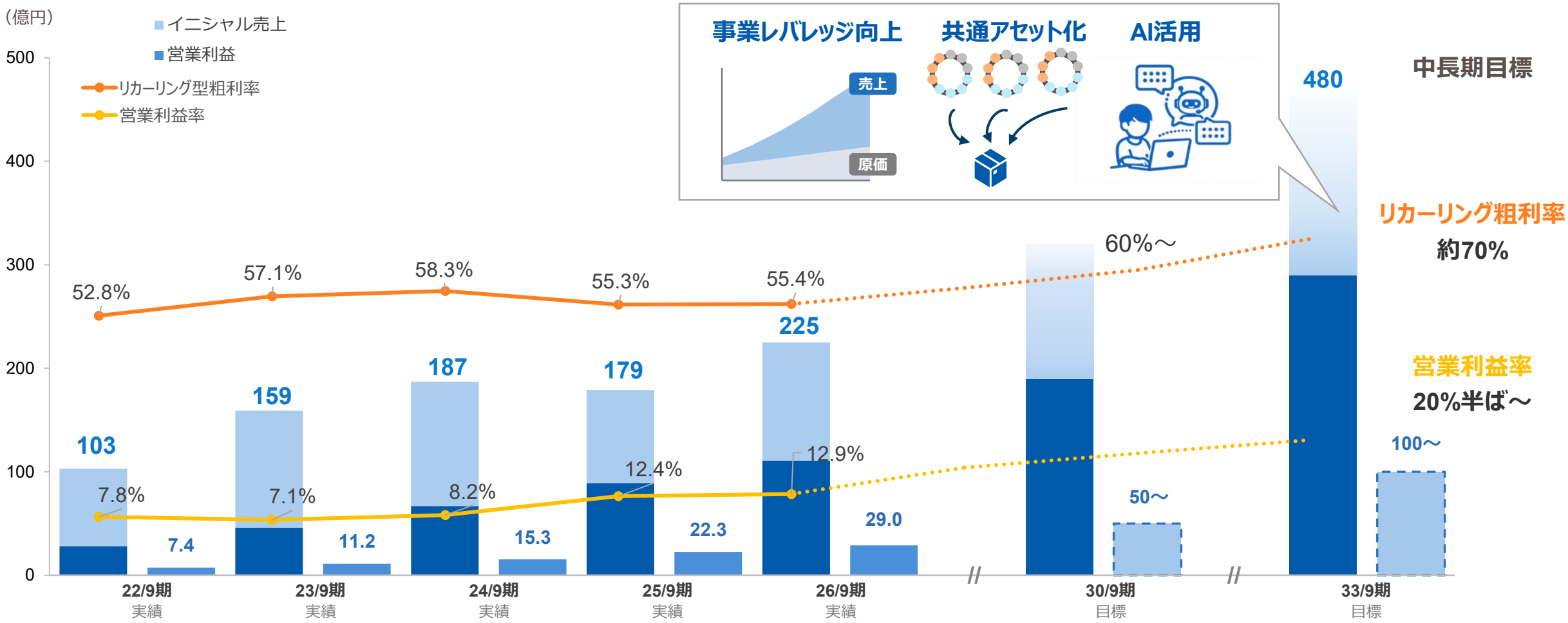
GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

利益率の将来アウトルック

事業レバレッジ向上・共通アセット化・AI活用が利益率改善を牽引
リカーリング型粗利率70%～、営業利益率20%半ば以上を目指す

リカーリング型粗利率・営業利益率の将来アウトルック



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

「デジタルレストラン byGMO」

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

「デジタルレストラン byGMO」提供開始

10月1日にサービスイン。業界課題の解決をサポートする飲食店向けオペレーション支援・モバイルオーダーサービスを提供

- 人が本来の価値を発揮できる店舗環境をデジタルでつくる -

デジタルレストラン by GMO
Digital Restaurant

飲食店業界を取り巻く業界環境



コスト高騰



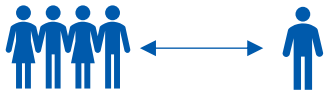
人手不足
人件費高騰



デジタル化
の遅れ



国内消費の低迷



来客人数の波

「デジタルレストラン byGMO」で実現できること

人が行う必要のない業務のシームレス化・効率化



注文受付
(モバイルオーダー)



調理指示
(モニター連携)



販売データ管理
(POS連携)



注文管理
(複数システムからの
オーダー一元管理)



複雑な要件への
テイラーメード対応

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

「デジタルレストラン byGMO」の提供事例

スープストックトーキョー様において業態特有のオペレーションに深く入り込み、顧客体験向上(注文利便性・提供スピード向上)・店舗オペレーション改善(バックヤード業務の効率化)を実現

Soup Stock Tokyo

顧客体験向上

お客様からの注文

- 店頭注文
- 店内注文 (モバイルオーダー)
- テイクアウト (モバイルオーダー)
- デリバリーオーダー

店舗オペレーション改善

全注文データをサーバーに集約&POS連携

オーダー情報確認&調理指示

オーダー内容に応じて調理指示

調理指示 / 調理指示 / 調理指示

モニター呼び出し



顧客体験向上

商品受け取り

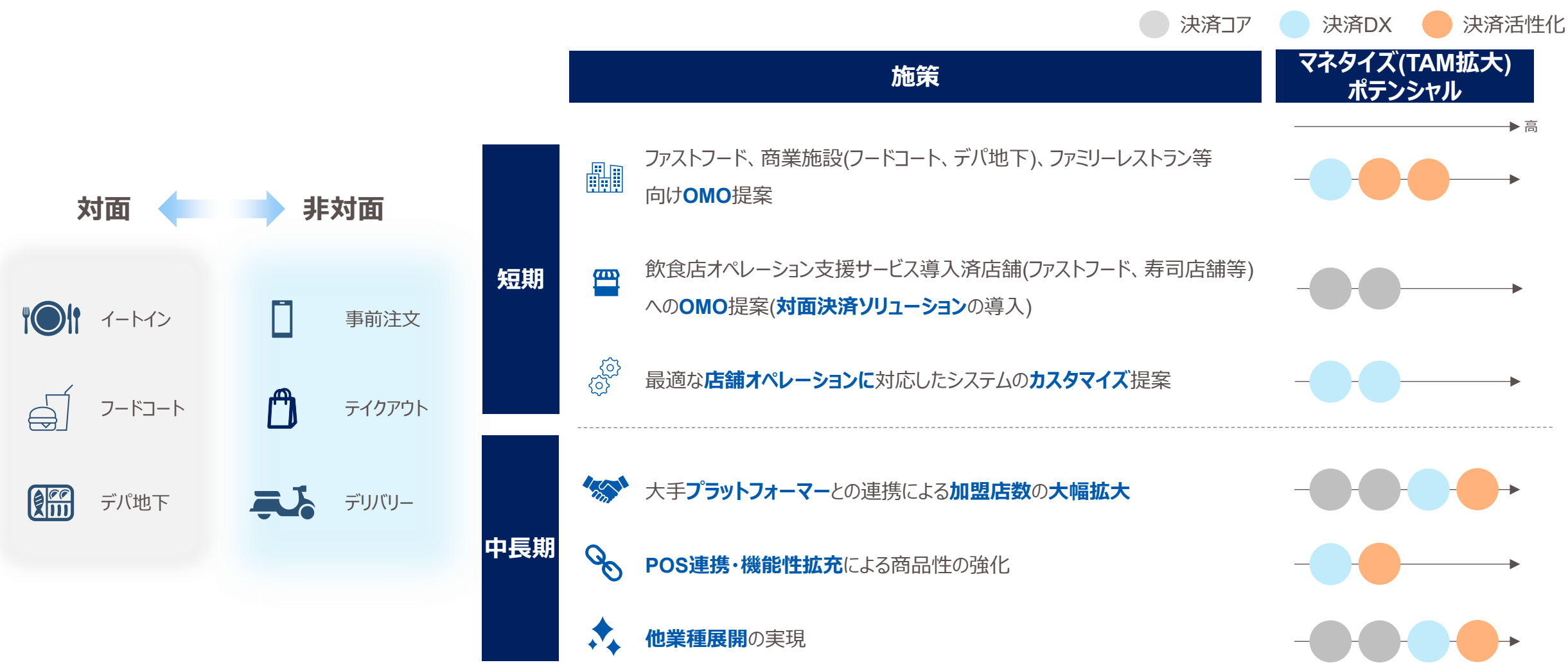


POS連携

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

加盟店向けOMO支援の加速

消費者ニーズ多様化への対応として、加盟店のOMOを支援
非対面と融合を加速し、TAMを拡大



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

デジタルレストラン byGMO・Uber Direct の連携

Uber Directとの連携により、加盟店の収益拡大と消費者の利便性向上に貢献
プラットフォームを他業種・業態へ展開し、更なる収益機会の獲得を推進

Uber Directとの連携イメージ



今後の展望・収益インパクトイメージ



各ステークホルダーのメリット



GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

Appendix: GMO-FG概要

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

3つの決済事業をワンストップ提供

加盟店と決済事業者の間で、決済に関わる全ての業務をワンストップ提供

エンドユーザー





決済シーン
(イメージ)

様々な決済方法

サービス利用

加盟店







決済端末

GMO FINANCIAL GATE



1 決済端末事業
フロー型収益

2 決済センター事業
リカーリング型収益

3 アクワイアリング事業
リカーリング型収益

決済処理

一括精算

決済処理

入金精算

決済事業者



カード会社

銀行

電子マネー事業者

ポイント事業者

QR決済事業者

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

決済ボリューム拡大施策

新ルートの決済ネットワークを開発。加盟店のコストダウン、
アライアンス先の競争力向上に寄与することでGMV拡大

加盟店



小売

飲料自販機

飲食

サービス

駐車場・EVメーター

etc・・・

加盟店が負担する
コスト↓

従来ルート



他社決済端末

決済
センター

決済
ネットワーク

1

2

当社新ルート

stera terminal



当社決済端末

GMO FINANCIAL GATE ＋ グローバル決済ネットワーク stera gateway

従来ルート比
大幅なコスト減

1

コストを抑えた新ルートにより、**アライアンス先(決済事業者)の競争力が向上**

決済事業者



カード会社

銀行

電子マネー事業者

ポイント事業者

QR決済事業者

決済事業者が負担する
コスト↓

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

参入障壁（準拠すべきレギュレーション）

各種決済手段毎に準拠する法令・基準等のレギュレーションが存在且つ増加中
決済手段の多様化に合わせて高まるエントリーバリア



依拠しているセキュリティ基準

PCI DSS

※ Visa・Mastercard・JCB・American Express Discoverの国際クレジットカードブランド5社が共同で策定した、クレジット業界におけるグローバルセキュリティ基準

依拠しているクレジットレギュレーション

EMV検定

※ EMV：Europay、Mastercard、Visaの3社が取り決めたICカードの世界共通規格を指します

依拠している決済センターレギュレーション

JCCA認定センター

※ JCCA：日本クレジットカード協会

準拠している法律

改正割販法

依拠している電子マネーレギュレーション

ブランド検定

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

バリュープロポジション①：Platform × IT人財

Cashless Platform×豊富なIT人財で経営課題へアプローチ
高確度で案件獲得を実現

01



構想・要件整理から伴走

- 経営課題の把握
- 業務要件・システム要件の具体化
- 他社がRFPを受領する間から支援

02





柔軟な対応力で受注・導入を実現

- 要件へ柔軟対応・精緻化
- GMO-FGソリューションの組み込み

03



他社より有利な立場で追加提案へ

- To-Beモデルのリリース
- 追加提案・他領域への展開

価値を支えるGMO-FGの強み



Cashless Platform

多様な決済・サービスに
接続可能なプラットフォーム



豊富なIT人材

構想から開発・導入まで
対応できる組織耐性



継続提案による拡張力

追加提案・横展開に
つなげる顧客深耕力

GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

バリュープロポジション②：Win-Winエコシステム

加盟店課題を解決すべく、段階的に当社ソリューションを追加提案
加盟店売上と当社ARPUがともに成長するWin-Winのエコシステムを形成

加盟店課題の解決および当社ソリューションの拡充（加盟店Aの例）

Phase1：キャッシュレスニーズ（2021~）



背景	キャッシュレス決済普及
提案	有人決済端末導入
価値	低コスト決済の実現 POS連携によるDX基盤構築

Phase2：省人化ニーズ（2022~）



背景	人件費高騰・感染症対策
提案	セルフレジ導入
価値	回転率向上・人手補完 感染拡大防止 接客人員の増員

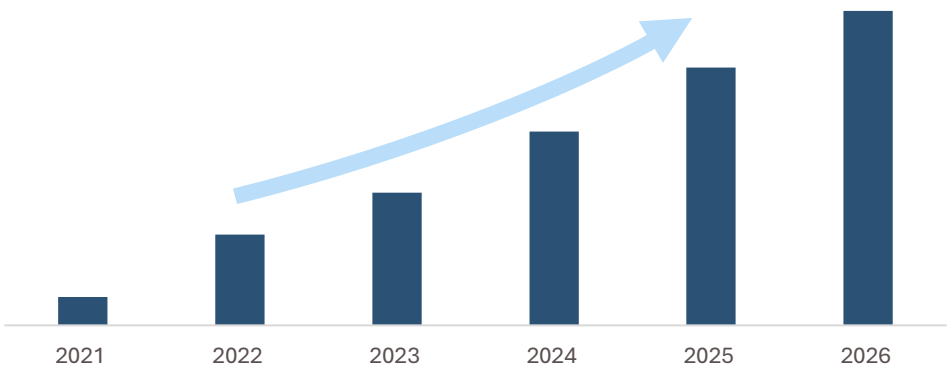
Phase3：データ活用・DX（現在~）



背景	店舗運営の高度化ニーズ
提案	加盟店様と協議中
価値	加盟店様と協議中

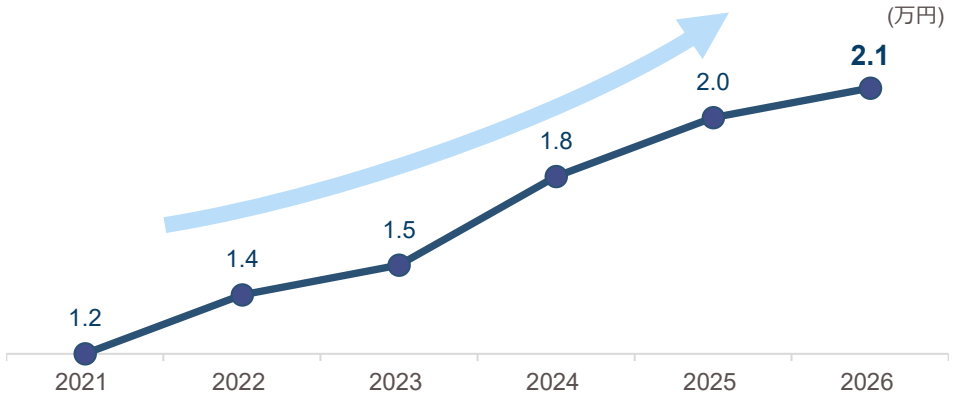
加盟店売上とARPUの同時成長

加盟店様における収益（加盟店Aの売上高）





当社ARPU（加盟店Aからもたらされるリカーリング ARPU）



GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

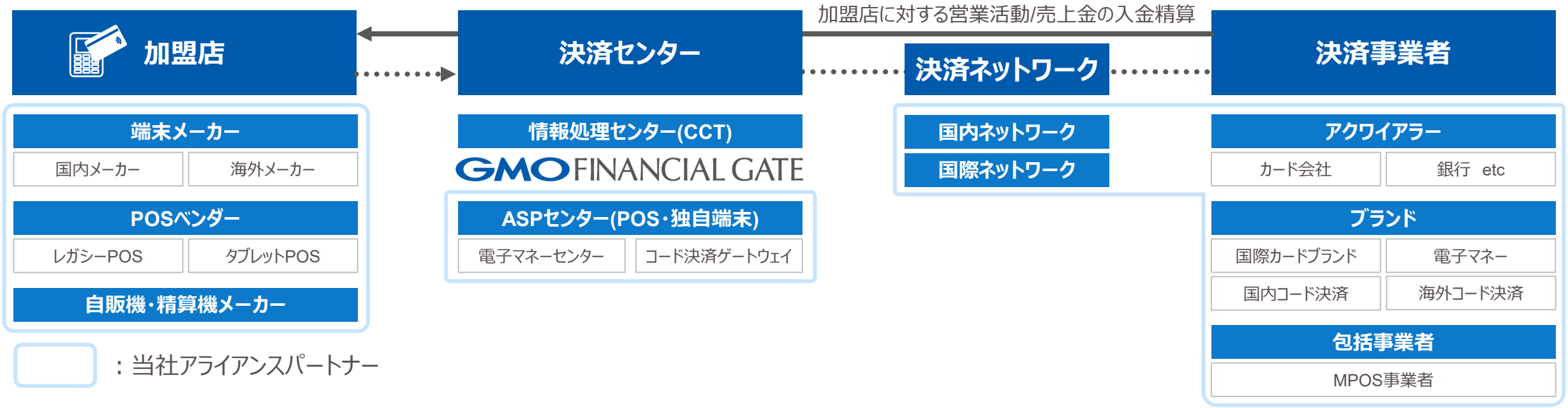
当社の事業領域

GMOペイメントゲートウェイ連結企業群において有人・無人の新旧「対面決済領域」を担う

	GMO FINANCIAL GATE	GMO PAYMENT GATEWAY
社名		
決済対象	リアル店舗決済 + IoT決済	EC決済
決済手段	物理カードを渡す(かざす)決済  	PC・スマホへカード情報を入力し決済  
決済媒体	決済端末	EC決済(端末は基本不要)
ネットワーク 電文 レギュレーション	対面特有	EC特有

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

対面キャッシュレス決済におけるプレーヤー



当社マネタイズポイント

イニシャル売上

ストック売上
※決済端末稼働～当社センター接続

フィー売上
※契約形態次第ではストック売上に計上
※除ロール紙販売

スプレッド売上

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

steraラインアップの拡充

従来型のstandardに加えて、2024年にunit及びmobileをリリース
想定利用シーンが広がることで、自社競合を起こさない端末展開の加速が可能に



stera terminal unit

レジなど無人機への組込型
ほぼ全てのPOSレジに対応



stera terminal standard

従来機種は旗艦
モデルとして販売継続



stera terminal mobile

国内最小クラスの
モバイル型端末

IoT ← 想定利用シーン → モバイル



セルフレジ



KIOSK

利用シーンの拡大



対面レジ

利用シーンの拡大



カートPOS



接客決済

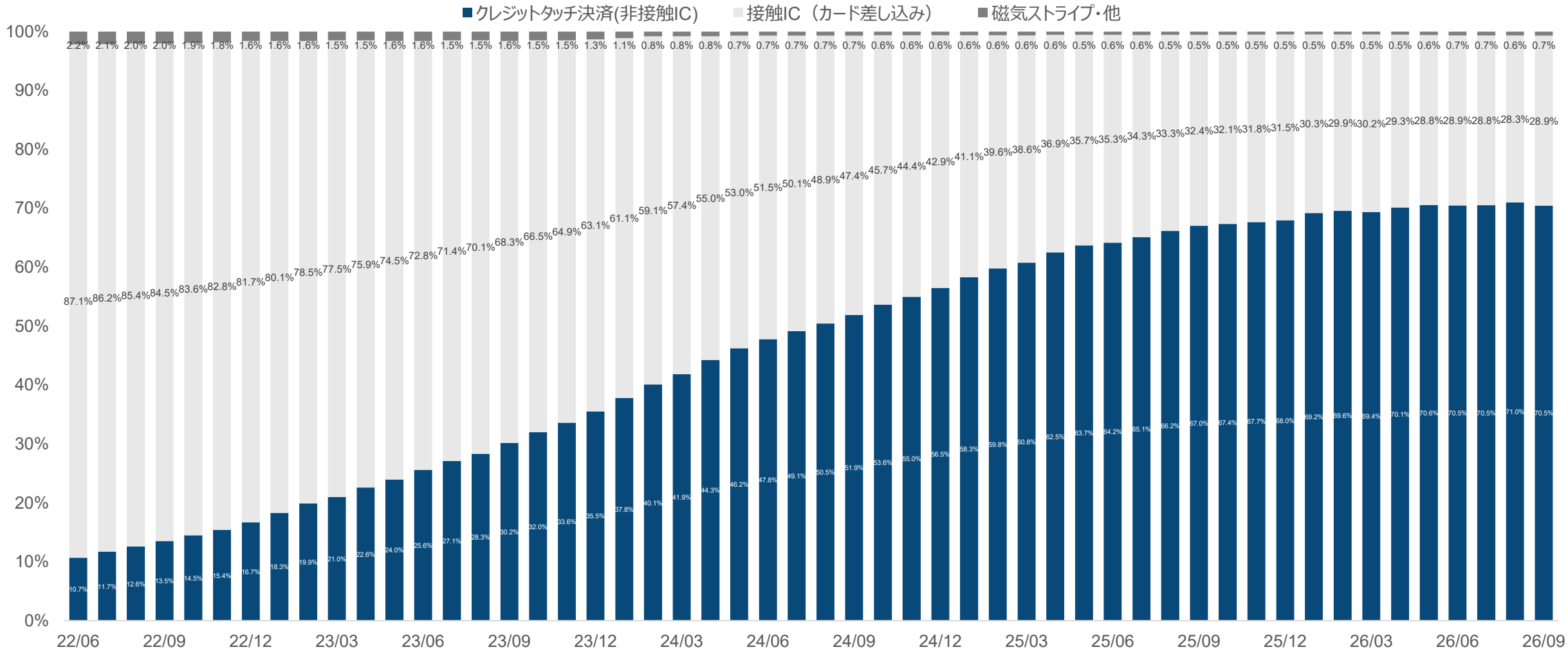
GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

クレジットタッチ決済(非接触IC)の普及

当社センター処理における、クレジットタッチ決済比率は70%台に到達し、更に拡大中
利便性の認知拡大が今後のモビリティ、IoT、端末レス決済領域での普及を後押し

当社センターにおけるクレジット・デビット決済 / 決済手段構成比



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

品目別売上の内容 ①

イニシャル	内容	収益モデル
決済端末販売	端末をメーカーから仕入れ、希望の決済手段をセンター接続し、加盟店又は決済事業者に販売することで得られる売上	• **端末価格×販売台数** ✓ 約10種類超の端末ﾗｲﾝﾅｯﾌﾟ ✓ 3万円台～10万円超の端末まで様々
開発	決済手段の拡充やポイント決済機能の搭載など、事業者のニーズに応じて受注する開発案件により得られる売上	• **開発案件数×受注金額** ✓ ｵｰﾀﾞｰﾒｲﾄﾞ開発のため、規模や利益率は様々

ストック	内容	
WEBデータ還元	当社決済センターでお預かりする加盟店の決済データをweb等で、加盟店へ提供することで得られる月額固定売上	• **契約数×サービス単価** ✓ サービス単価は月額500円～1,000円程度の価格帯
ポイント&QR	ポイント・QR決済利用を希望される加盟店へ当社決済アプリを提供することで得られる月額固定売上	
モバイル端末	屋外環境等で利用されるモバイル決済端末を加盟店へレンタルすることで得られる月額固定売上	
モバイル通信	モバイル決済端末の利用に必要なデータSIMを提供すること得られる月額利用売上	
業務DX化支援	加盟店の請求精算、登録情報変更、問い合わせ対応など決済に伴うバックオフィス業務をサポート	• **契約数×月額固定料金** ✓ 取引規模等に応じ、月額固定料金(経済条件)は様々
決済処理(月額固定契約)	カード会社や加盟店との月額固定契約に応じて得られる処理料売上 ※通常はﾌｨｰ売上(決済処理売上)で計上されるが、月額固定契約の特性によりストック売上として計上	

※加盟店規模、業種ごとに経済条件が異なるため各加盟店の条件に合わせた契約形態、また、サービス加入されない加盟店も一部あり

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

品目別売上の内容 ②

フィー	内容	収益モデル
決済処理	1件当たりの決済処理金額を定め、月間の決済処理件数を乗じて請求する売上	• **決済処理件数×処理単価** ✓ 処理料単価は1件当たり3円程度
ロール紙	決済端末において使用・消費されるロール紙代金を決済事業者または加盟店に請求して計上する売上	• **受注数量×ロール紙単価** ✓ ロール紙単価は種別等によって変動するものの凡そ130～200円程度
電子伝票保管	電子的に伝票を保管するオプションサービス、契約対象の決済処理件数に応じて請求する売上	• **契約対象決済処理件数×処理単価** ✓ 処理料単価は1件当たり1円程度

スプレッド	内容	収益モデル
アクワイアリング (決済代行)	当社から加盟店の入金精算金額に対し、一定の手数料率（α）を乗じて得る売上 ➢ 当社が決済事業者から仕切料率(N)を預かり、入金精算に係る手数料を仕切料率(N)に上乗せした料率(N + α = 加盟店手数料率)を以って　　加盟店を開拓	**包括加盟店契約の決済処理金額 × 当社手数料率(0.3～0.4%程度)**

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

CCT(共同利用端末) について

CCT(Credit Center Terminal)
日本クレジットカード協会(JCCA)が指定する情報処理センター(CCTセンター)が認定した端末呼称。
JCCAが定めるガイドライン等に沿って運用される。カード会社1社が代表して端末を保有して加盟店に貸与、設置。
複数カード会社が共同利用し、設置カード会社に利用料を支払う



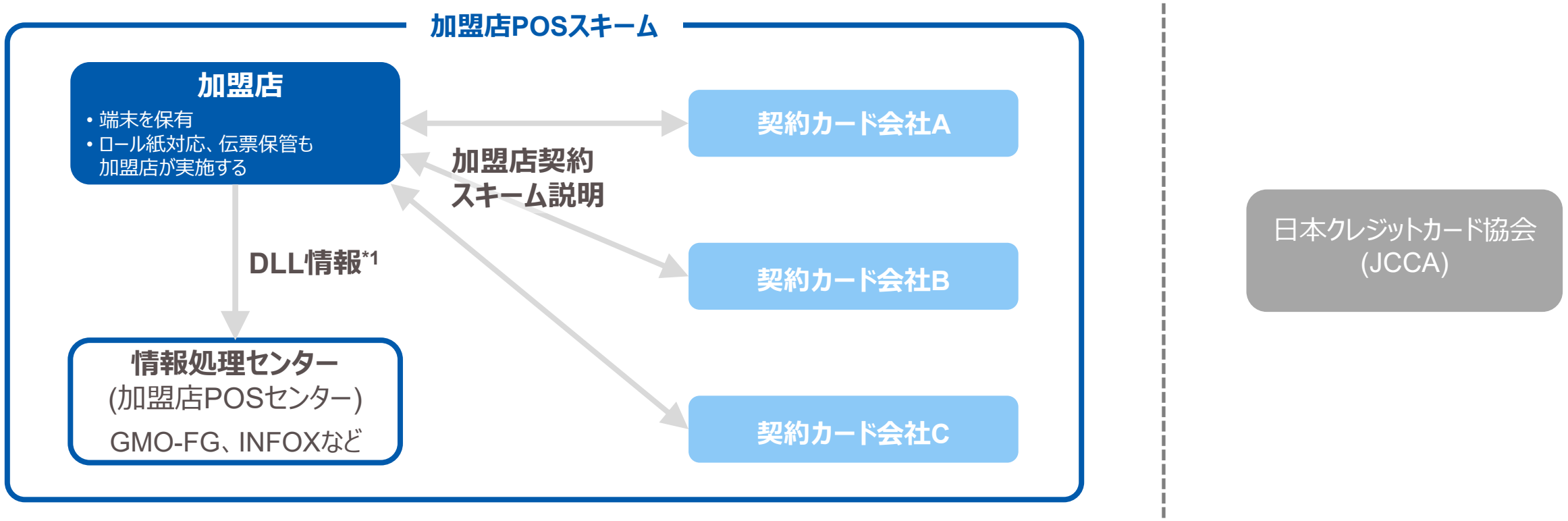
*1: DLL(down line loading)情報
端末識別番号と加盟店番号を結びつけるための情報で、加盟店POSでは端末識別番号を加盟店が発行する

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

加盟店POS(独自端末)について

加盟店POS

一般的にPOS(Point of Sales)とは商品が売れた日時や数量、価格などの販売実績動向を知るためのサービスの総称だが、
クレジット業界では慣習的にCCT端末ではないクレジット処理が可能な端末を総称して加盟店POSという用語を使う。
加盟店POSでは加盟店自身が端末を保有、カード決済環境も用意して、カード会社と個別に契約を行う。
加盟店は手間がかかる反面、JCCA(日本クレジットカード協会)のガイドラインに縛られない柔軟な設計が可能となる



*1: DLL(down line loading)情報
端末識別番号と加盟店番号を結びつけるための情報で、加盟店POSでは端末識別番号を加盟店が発行する

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

GMVに対するスプレッド売上比率の考え方

当社全体のGMVは下記①・②の合算値。スプレッド売上は②包括加盟店契約のケースのみ発生。①によるGMV貢献も大きい為、全体GMVとスプレッド売上の連動性は低下傾向

1 直接加盟店契約

※大規模加盟店中心



当社収益
- ストック
- フィー
- スプレッド
- イニシャル

2 包括加盟店契約

※中小規模加盟店中心



当社収益
- ストック
- フィー
- スプレッド
- イニシャル

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

決済手段別のマネタイズポイント

主たるマネタイズポイントは最も利用される決済手段(クレジットカード)
その他決済手段においても複数のマネタイズポイントを有する事が強み

	フロー型売上	リカーリング型売上		
	イニシャル	ストック	フィー	スプレッド
クレジット・銀聯・J-debit決済	○	○	○	○
電子マネー決済	○	○	○	○
QRコード決済	○	○	○*1	○
共通ポイント機能	○	○	○*1	—
ハウスポイント・ハウス電子マネー機能	○	○	○*1	—
免税機能	○	○	○*1	—

（*1）当社の処理センターを経由しないため、手数料は発生しませんが、取引に付随して消費されるロール紙が手数料収入の増加に寄与します

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

アライアンスによる大口顧客獲得

クレジット決済に加え、QR・ポイント事業者等とのアライアンスにより、多様な決済手段・付加機能をデバイスに搭載し、大手企業のニーズに応える

クレジット決済

VISA / mastercard / JCB / AMERICAN EXPRESS / Diners Club INTERNATIONAL / DISCOVER / UnionPay 銀聯

電子マネー決済

交通系IC / iD / QUICPay / WAON / nanaco / SAPICA

QRコード決済

d払い / Pay メルペイ / au PAY / PayPay / R Pay / ゆうちょPay / FamiPay / Smart Code / Jcoin / UnionPay 銀聯 / 支付宝 ALIPAY / 微信支付 WeChat Pay

J-debit決済

J-Debit

ハウスポイント・ハウス電子マネー

TOPPAN GIFTCARD / FeliCa ポケット / repica point+plus

共通ポイント機能

WAON POINT / dポイント / R POINT

免税機能

Smart Detax



当社が提供するCashless Platform

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

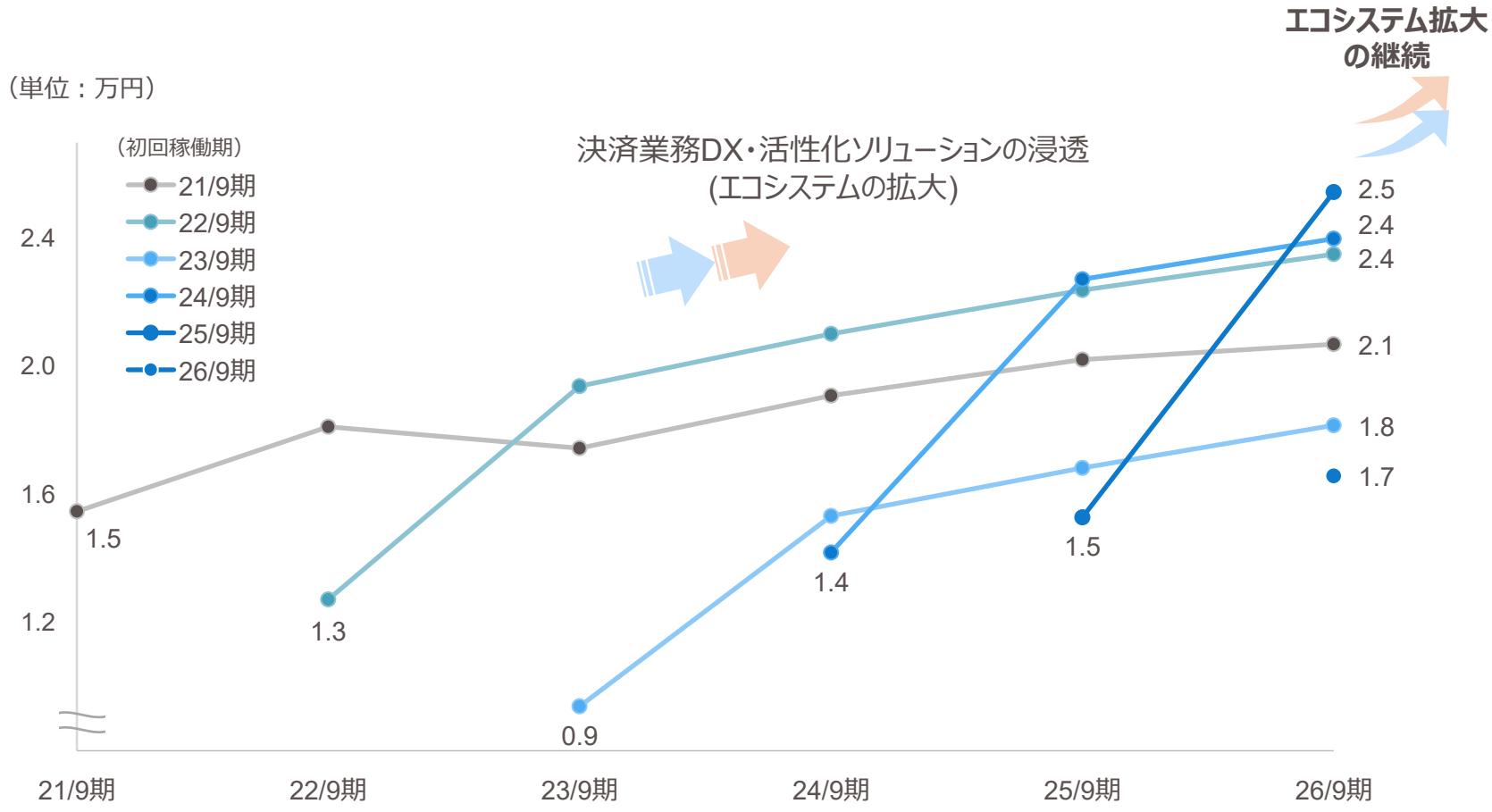
対面キャッシュレス市場の成長ポテンシャル

決済業務DX・活性化領域のTAMを獲得
提供価値を高め、ARPUの更なる向上へ

対面キャッシュレス決済市場（TAM）の拡大



生活領域加盟店のARPU推移



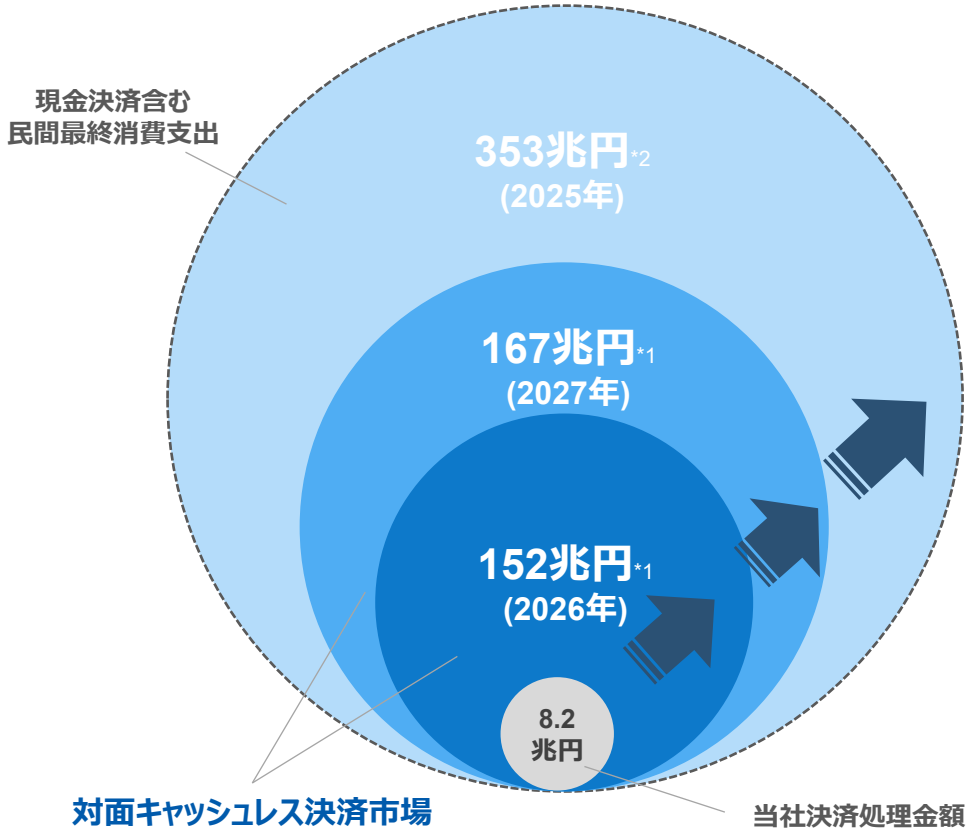
*1) 決済業務DX:株式会社富士キメラ総研「2025 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編」、矢野経済研究所「デジタルマーケティング市場に関する調査（2024年）」を基に当社試算
*2) 矢野経済研究所「2024年版 国内キャッシュレス決済市場の実態と将来予測」　矢野経済研究所「2024年版 オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測」 に基づき当社試算

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

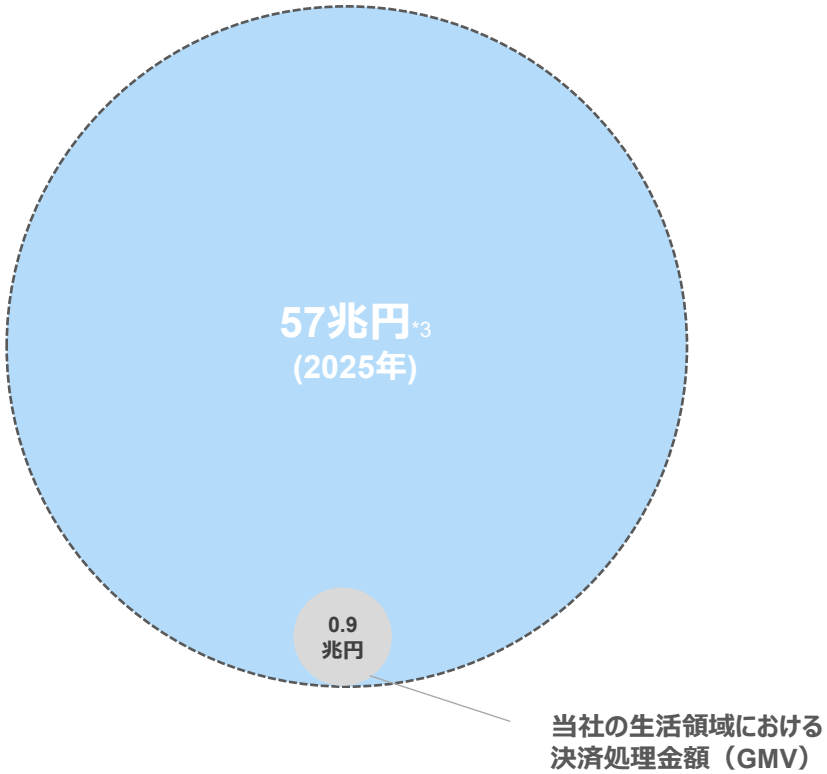
TAM(Total Addressable Market)

巨大な対面決済市場におけるキャッシュレス化、生活領域拡大の潮流はより一層加速

■ 対面キャッシュレス決済市場



■ 生活領域のTAM*3 (2025)

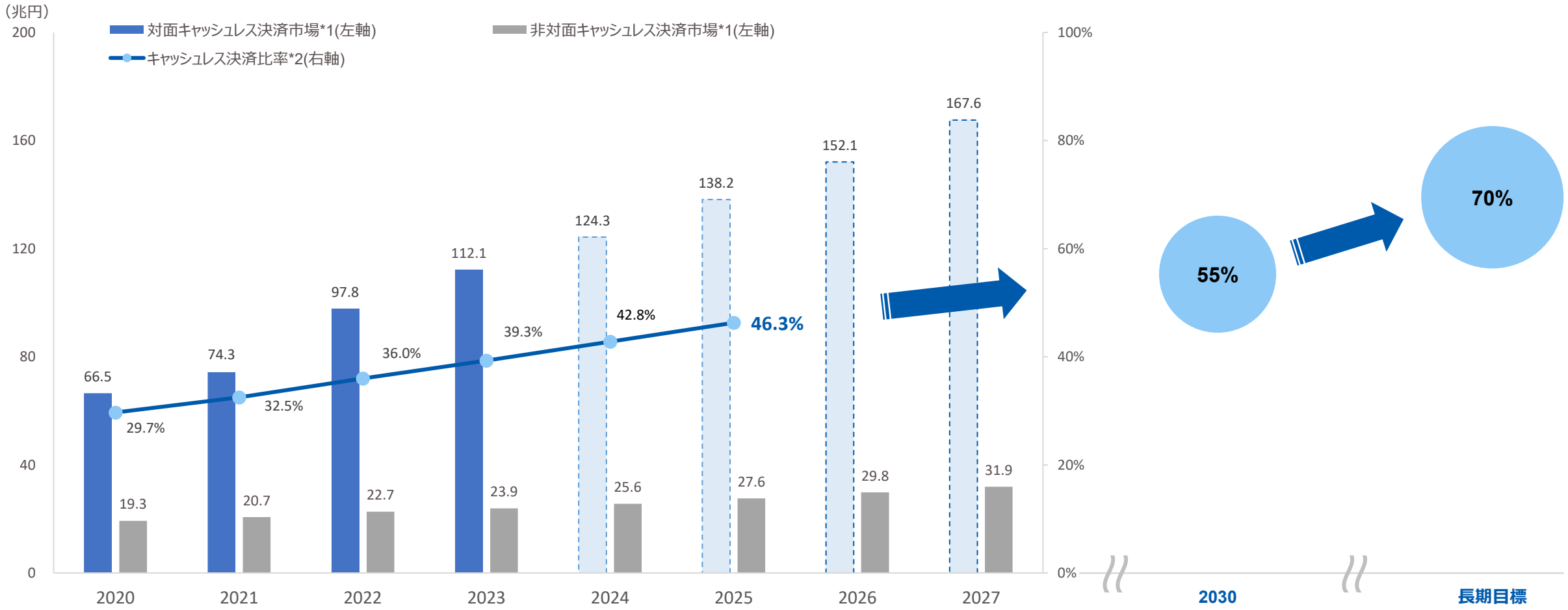


（*1）矢野経済研究所「2024年版 国内キャッシュレス決済市場の実態と将来予測」　矢野経済研究所「2024年版 オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測」 に基づき当社作成
（*2）内閣府「2026 国民経済計算（GDP統計）」より抜粋
（*3）経済産業省「電子商取引に関する市場調査」に基づき当社推定

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

国内対面キャッシュレス市場のトレンド

対面キャッシュレス市場規模は非対面決済市場（EC）の約5倍に相当する約112兆円キャッシュレス決済比率は政府目標の40%を達成。長期目標の70%に向け環境整備を継続



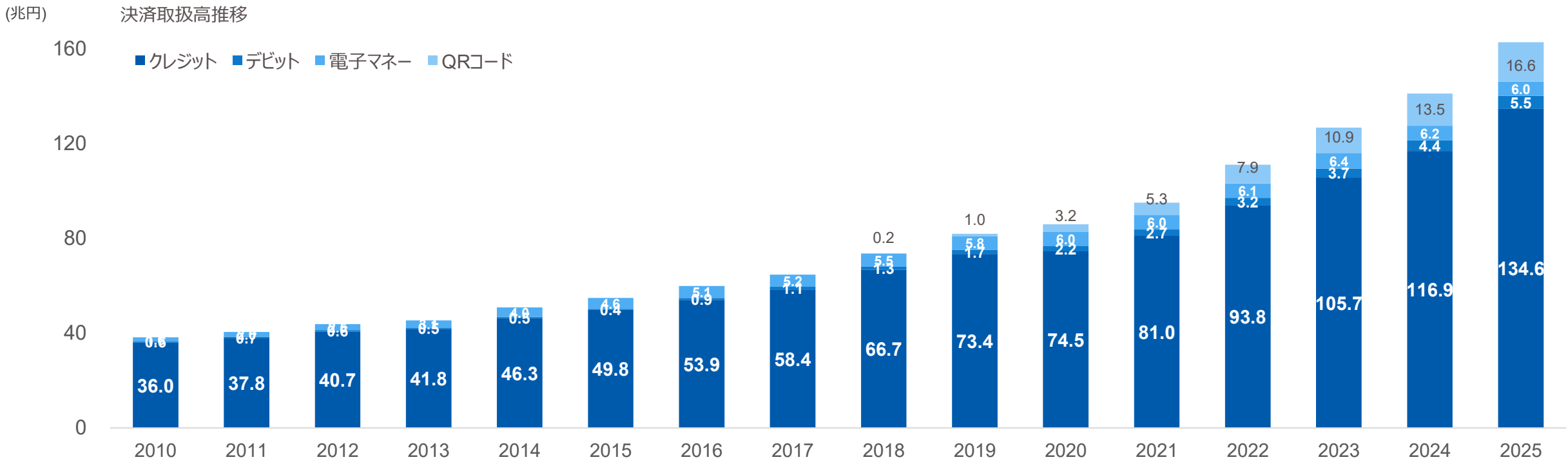
（*1）矢野経済研究所「2024年版 国内キャッシュレス決済市場の実態と将来予測」 矢野経済研究所「2024年版 オンライン決済サービスプロバイダーの現状と将来予測」 に基づき当社作成
対面・非対面キャッシュレス決済市場は2023年は見込、2024年以降は予測
（*2）経済産業省「2025年のキャッシュレス決済比率を算出しました」の国際比較指標に基づき当社作成

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

国内キャッシュレス決済手段別の構成比率

QRコードの構成比が伸長しているものの、クレジットの決済取扱高の実数成長が続く

決済取扱高構成比率	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
クレジット	94.1%	93.5%	93.0%	92.0%	91.2%	90.8%	89.9%	90.2%	90.7%	89.7%	86.8%	85.3%	84.5%	83.5%	82.9%	82.7%
デビット	1.7%	1.6%	1.3%	1.1%	0.9%	0.8%	1.5%	1.7%	1.8%	2.1%	2.5%	2.8%	2.9%	2.9%	3.1%	3.4%
電子マネー	4.3%	4.9%	5.6%	6.9%	7.9%	8.5%	8.6%	8.0%	7.5%	7.0%	7.0%	6.3%	5.5%	5.1%	4.4%	3.7%
QRコード	–	–	–	–	–	–	–	–	0.2%	1.2%	3.7%	5.6%	7.1%	8.6%	9.6%	10.2%



*経済産業省ニュースリリース「2025年のキャッシュレス決済比率を算出しました」より基づき当社作成

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

当社の特長

ワンストップでトータルソリューションを提供。各フェーズでのセールスポイントを有することで、競合先をも含めた柔軟なアライアンススキームが実現可能

■対面決済事業におけるソリューション

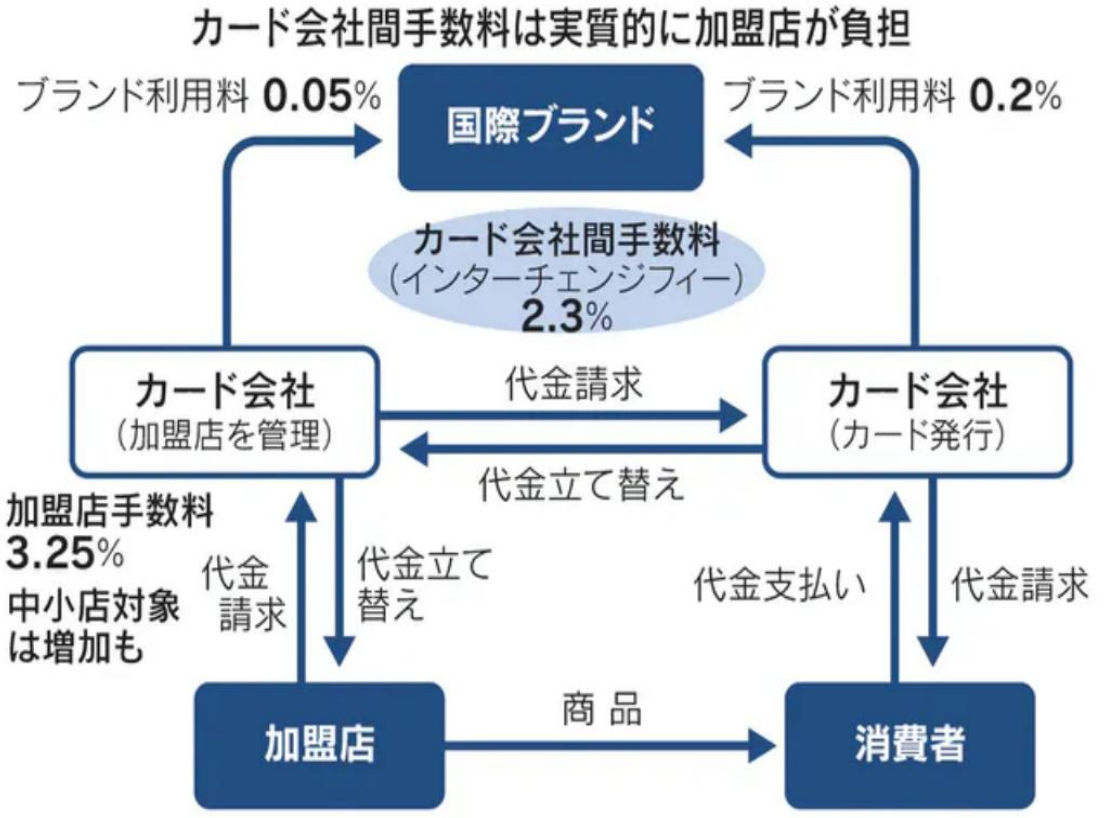
	個社別カスタマイズ	上位機連動対応	端末設置	決済処理	入金精算	保守・サポート
当社	○	○	○	○	○	○
N社 大手決済ネットワーク事業者	○	–	–	○	–	–
R社 大手事業会社	–	△ 自社レジのみ対応	○	–	○	○
P社 大手決済事業者	–	–	–	–	○	○

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

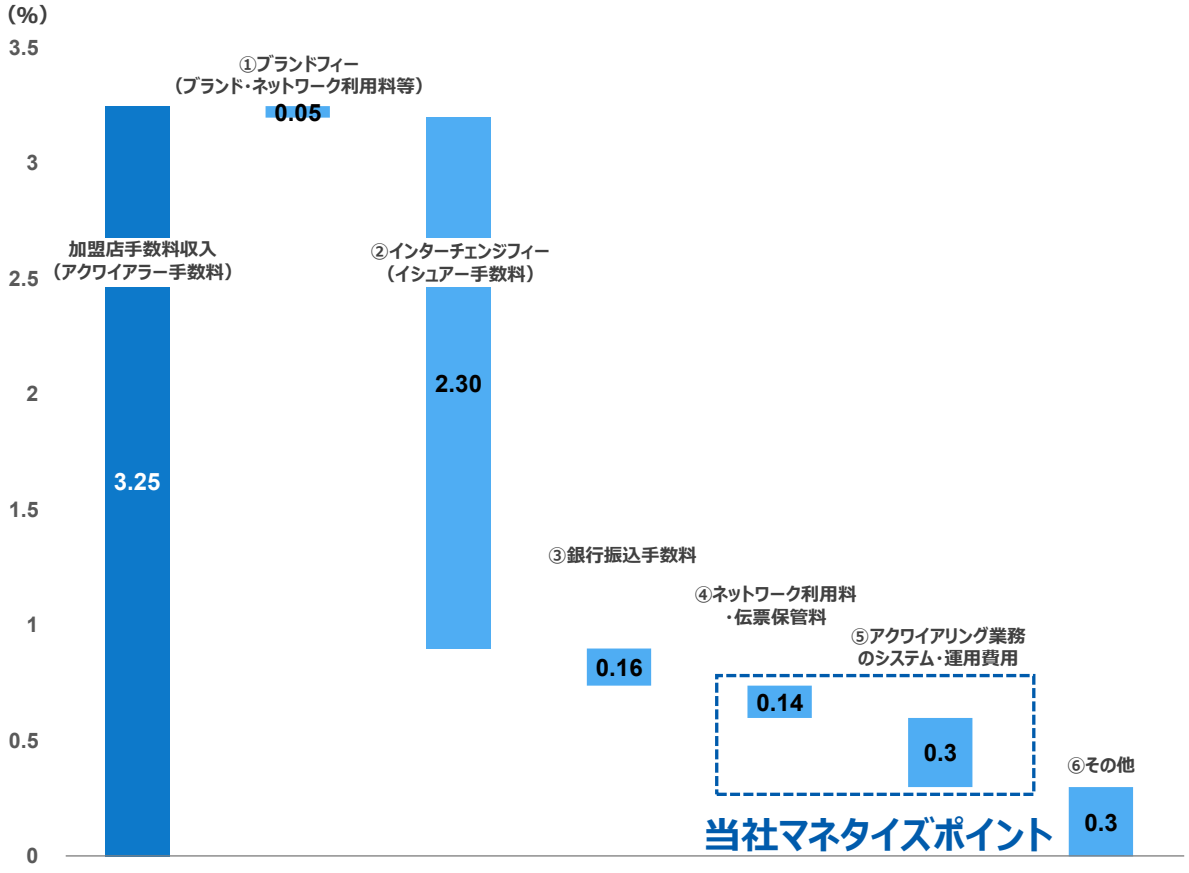
インターチェンジフィーの標準料率公開

公正取引委員会からの要請を受け、主要国際ブランドが
インターチェンジフィーの料率を公開

カード会社間の手数料



加盟店手数料率の内訳（経済産業省が掲げるモデルケース）

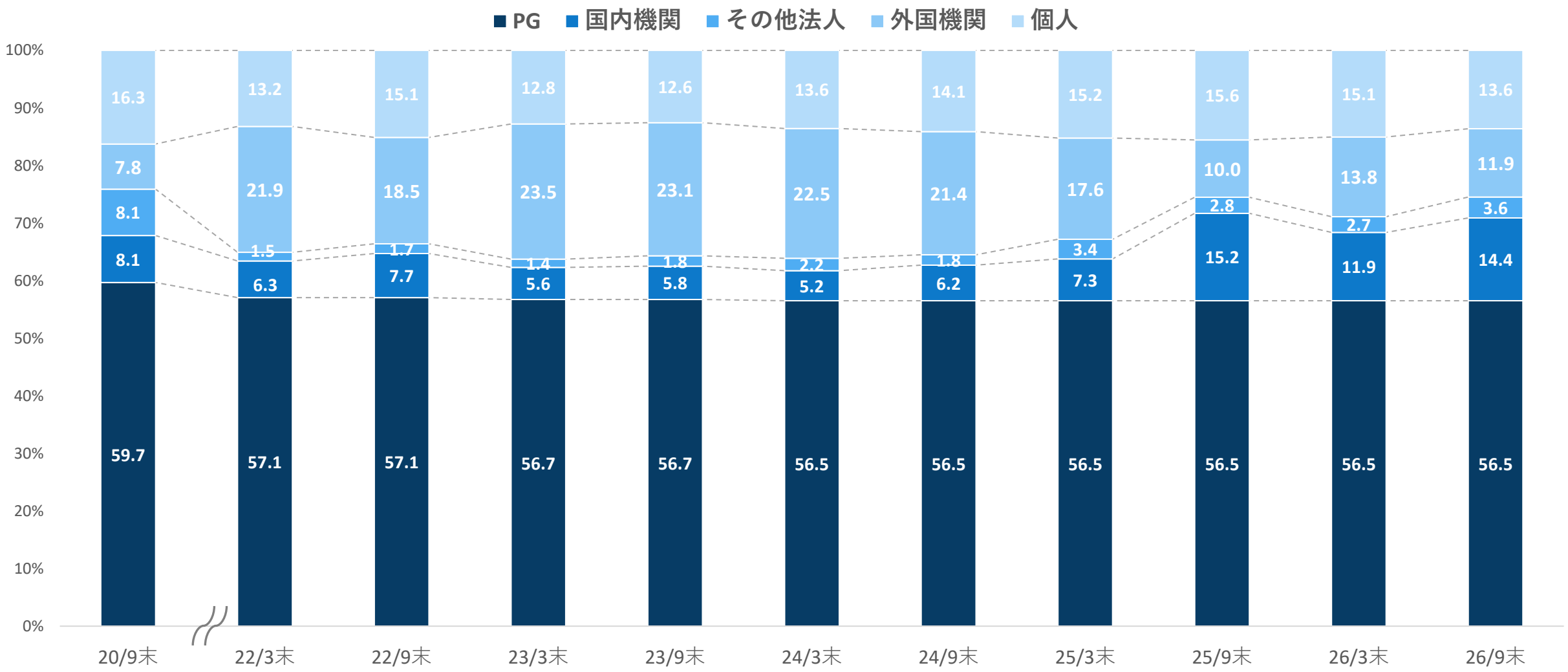


出所：キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会
（図表 3 モデルケース毎のアクワイアラーのコスト分析（第 3 回事務局資料より抜粋）

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

当社株主構成

1on1ミーティングや証券会社主催カンファレンス参加等、IR活動を積極展開



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

ESGに関する取り組み

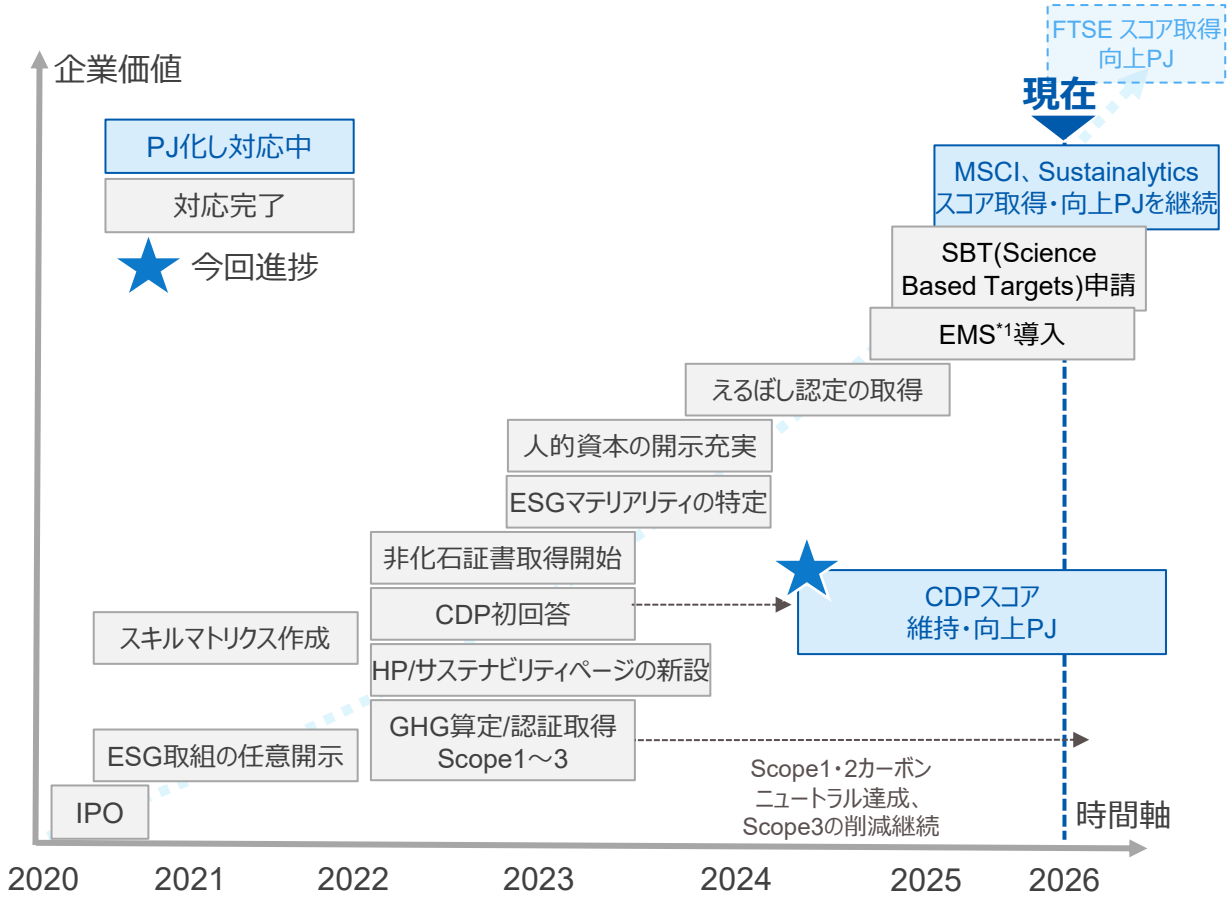
GMO FINANCIAL GATE

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

ESG対応の高度化

SBTi認証取得し、CDPスコアがBからA-へ向上するなど着実に高度化が進捗
2050年GHGネットゼロ目標達成に向けて、各アクション推進を継続

ESG対応ロードマップ



今後の主要 To-Do

CDPスコア向上PJを継続

- 当社として初めて気候変動「A-」評価を獲得。A-を維持するのみならず、最上位のA評価獲得を目指す

GHG排出量削減

- SBTi認証を受けた2030年中期目標及び2050年ネットゼロ目標達成のためScope1・2のカーボンニュートラル継続とScope3削減PJを継続推進

MSCI、Sustainalyticsスコア取得・向上PJを継続

- 将来的な指数組み入れを目指し、ESG評価機関対応(MSCI、Sustainalytics)からのアドバイスを基に改善を継続

EMS*1の運用継続

- 当社が環境に与える負荷の可視化・削減を行う
- 取組状況をホームページ上にて公開。各ESG評価機関のスコア向上を目指す

（*1）Environmental Management Systemの略。経営において自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、実証できるようにする仕組みの構築を目的としたもの

GMO FINANCIAL GATE
Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

ESG/マテリアリティ/CDPスコアA-獲得

サステナビリティに関する取組が認められ、初めてCDP気候変動「A-」を獲得。

マテリアリティの特定

		マテリアリティ(重要課題)		SDGsへの貢献
社会的責任	1	インフラ・セキュリティ	安心・安全な対面キャッシュレス決済インフラの提供	11
社会的責任	2	脱炭素・環境	環境負荷に配慮した決済端末の提供	7 12 13 17
社会的責任	3	ビジネス・イノベーション	技術先進性を取り入れたキャッシュレス化の促進	8 9
経営体制	4	人財・人権	高い専門性を有する人財確保と育成投資の強化	3 5
経営体制	5	ガバナンス	公明正大なガバナンス体制の構築	16

CDP気候変動スコア「A-」を獲得

CDPとは

温暖化対策を調査している国際NGO。世界の主要上場企業を対象に、温室効果ガスの排出や気候変動による事業リスク・機会などの質問書を年１回送付し、その回答をもとに企業の気候変動問題への対応を評価。

気候変動スコアの評価はA、A-、B、B-、C、C-、D、D-の８段階

CDPスコア

Climate CDP 2025 A-

- 「A-」スコアは**リーダーシップレベル**とされ、「環境問題に対するベストプラクティスを実践している」と評価されたことを示すものです
- 当社が属する業種平均、アジア地域平均、並びに世界全体平均がいずれも「C」にとどまる中、これまでの「B」評価からさらにステップアップし、初めて「A-」スコアを獲得しました
- 今後もさらなる開示情報の充実に努め、最高ランクである「A」スコアの獲得を目指します

Supplier Engagement Leader CDP 2025

- 「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」は、気候変動に対するサプライチェーン全体への働きかけが特に優れている企業として**最高評価**を受けたことを示すものです
- ガバナンス、目標、スコープ3（サプライチェーン排出量）、およびバリューチェーンエンゲージメントの4項目が高く評価され、回答企業の上位数%のみが選定される「リーダー・ボード」に選出されました
- 今後もサプライヤーとの協働をさらに深め、サプライチェーン全体での脱炭素化・環境負荷低減を推進します

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

サステナビリティ/SBTi目標

2030年までに2021年対比でCO_2排出55%削減および2050年のネットゼロ目標のSBTi認定を取得

SBTiとは

SBTi(Science Based Targets initiative)気候変動対策における科学的目標の設定を推進する国際的団体。
2050年のネットゼロ目標の認定を受けているのは日本で90社[*1]のみ。



認定された目標



認定取得の単位は、GMO-PG連結会社全体およびGMO-FG連結会社全体

Scope1：企業が自ら排出するGHG排出量。
Scope2：購入した電力・熱等の間接的なGHG排出量。
Scope3：サプライチェーン由来の間接的GHG排出量。GMO-PG連結およびGMO-FG連結の短期目標では、Scope3の大半を占める決済端末製品にかかわる、購入した商品・サービス（カテゴリ1）および、販売した製品の使用（カテゴリ11）が該当。
実質ゼロ：Scope1・2の排出量を再生可能エネルギーの導入などにより限りなく削減し、実質的な排出が発生しない状態。
ネットゼロ：Scope1・2・3の排出量を合計で90%以上削減し、残余排出量を除去により中和した状態。

（*1）2025年8月現在。当社調べ

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

Environment/環境

当社は決済プラットフォームの提供において、環境負荷に配慮した業務運営を推進
当社事業に関連するCO$_2$排出量の削減に取り組む

具体的な取り組み内容

- 各決済端末利用時に使用される**レシート(ロール紙)に再生紙を利用**
- レシート(ロール紙)の削減につながる売上票の**電子保管サービスの提供**
- 決済端末部品に**環境配慮素材を利用**
- 加盟店から返却された決済端末を整備して新品に準じる品質を確認し、不具合発生時の**代替端末(リファービッシュ端末)として再利用**　など
- サプライチェーン推進部署を新設、決済端末やロール紙等の**サプライチェーンマネジメントの強化**を目指す
- CO$_2$排出量精緻化のため、取引先との**エンゲージメントを強化**

「E」関連データ

当社サプライチェーン

上流		自社		下流	
SCOPE 3		SCOPE 1	SCOPE 2	SCOPE 3	
調達・製造・流通		燃料燃焼	電気使用	利用・廃棄	
決済端末	ロール紙	該当無し	事業所、決済センター	決済端末の利用	決済端末の廃棄

サプライチェーンCO$_2$排出量	2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期
SCOPE 1 (t-CO2)	0	0	0	0
SCOPE 2 (t-CO2)	105	0	0	0
SCOPE 3 (t-CO2)	13,927	19,501	17,616	17,778
SCOPE 1・2の電力使用量 (kwh)	231,210	200,949	206,963	235,895

*対象は連結企業集団であるGMOフィナンシャルゲート、GMOカードシステム、GMOデータ
*SCOPE 1, 2, 3は第三者検証機関によるデータ検証を継続的に実施
*SCOPE 2の電力使用量に相応する再生可能エネルギーを利用することで、ネットゼロを実現
*SCOPE 3内訳は当社サステナビリティページ(ESG関連データ)にて公開
https://gmo-fg.com/sustainability/esg-data/index.html

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

Social/社会

企業価値の創造と社会課題の解決に向け、高い専門性を有する優秀な人財の採用と全パートナー*1の能力向上に資する各種制度の充実により持続的な成長を目指す

具体的な取り組み内容

■ 人財育成・福利厚生制度

- **キャリアデザイン制度**：キャリア形成に関する助言・支援を行う制度
- **360度多面評価制度**：パートナーが上司を無記名で評価できる制度
- **少子化対策**：結婚・育児など各段階での資金給付や勤務特例

■ 働き方改革

- 役職員の安全に配慮したテレワーク業務体制の推進
- 産休・育休取得の促進
- 育児短時間勤務体制の奨励
- 定年後再雇用機会の提供
- 時間単位の年休制度の提供　など

■ 障がい者雇用の推進

- 多様な人財を受入れ、働きやすい環境づくりを推進

（*1）当社では、従業員をはじめとした役職員のことを「パートナー」と呼称

「S」関連データ

	2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期	2026/9期
パートナー数	124人	148人	161人	148人	164人
（内訳）従業員パートナー数	96人	108人	123人	123人	139人
（内訳）臨時雇用パートナー数	28人	40人	38人	25人	25人
従業員パートナーにおける女性比率	22.8%	32.4%	29.8%	30.8%	31.0%
管理職パートナーにおける女性比率	14.3%	13.6%	11.5%	4.7%	8.2%
平均勤続年数	3.6年	3.8年	3.7年	3.9年	3.9年
平均年齢	40.9歳	42.7歳	39.9歳	39.7歳	39.6歳
離職率	9.5%	4.6%	6.5%	11.1%	8.1%
一人当たり研修時間	—	13.6時間	40.9時間	29.2時間	67.1時間

*「パートナー数」の対象は連結企業集団であるGMOフィナンシャルゲート、GMOカードシステム、GMOデータ
*「従業員パートナー数」は期末時点における正社員、再雇用社員、契約社員、出向社員(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む)の合計人数
*「臨時雇用パートナー数」はパートタイマー、派遣社員の最近1年間における平均合計人数
*「従業員パートナーにおける女性比率」及び「管理職パートナーにおける女性比率」は、「従業員パートナー」を対象とした数値
*「平均勤続年数」、「平均年齢」、「離職率」は、GMOフィナンシャルゲート単体の数値
*「離職率」は2023年9月期より、契約・派遣パートナーを集計対象より除く

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

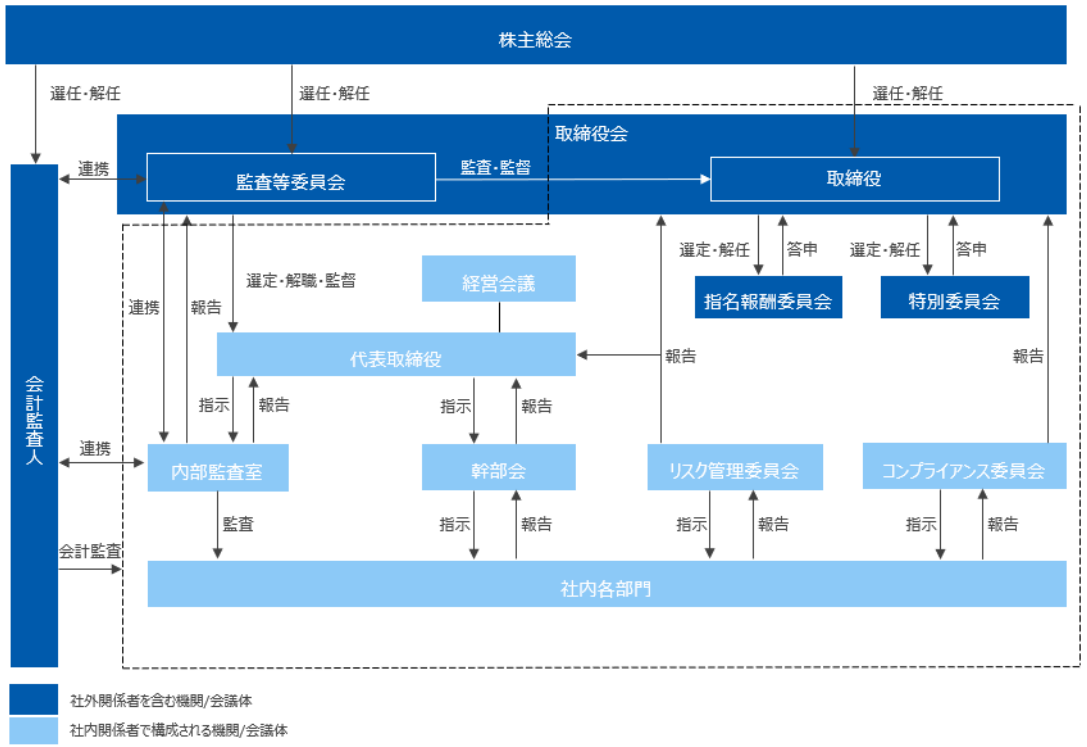
Governance/ガバナンス

経営環境の変化に迅速かつ適正に対応した意思決定体制、公正で透明性があり効率的な業務執行体制を構築。監査等委員会設置会社、特別委員会の設置によるガバナンス強化

具体的な取り組み内容

・監査等委員会設置会社への移行(2023年12月)
取締役会の1/3以上を社外取締役が占め、株主の皆様と利益相反にあたる意思決定を排除

・特別委員会の設置
取締役会のガバナンス強化と少数株主の利益保護を図る



「G」関連データ

独立社外取締役割合・女性割合

	2026/9期
取締役数	9人
独立社外取締役数 (%)	4人(44.4%)
女性取締役数 (%)	1人(11.1%)

取締役会出席率(2026/9期)

実施回数	回数・率	杉山 代表取締役社長	青山 取締役	福田 取締役	玉井 取締役	小出 取締役	嶋村 独立社外取締役(監査等委員)	浅山 独立社外取締役(監査等委員)	長澤 独立社外取締役(監査等委員)	小澤 独立社外取締役(監査等委員)
19回	出席回数	19回	19回	19回	19回	19回	19回	19回	14回	19回
	出席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	74%	100%

監査等委員会(2026/9期)

実施回数	回数・率	嶋村 独立社外取締役(監査等委員)	浅山 独立社外取締役(監査等委員)	長澤 独立社外取締役(監査等委員)	小澤 独立社外取締役(監査等委員)
13回	出席回数	13回	13回	10回	13回
	出席率	100%	100%	77%	100%

指名報酬委員会(2026/9期)

実施回数	回数・率	玉井 取締役	小出 取締役	嶋村 独立社外取締役(監査等委員)	浅山 独立社外取締役(監査等委員)	長澤 独立社外取締役(監査等委員)
4回	出席回数	4回	4回	4回	4回	4回
	出席率	100%	100%	100%	100%	100%

IR活動

	2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期	2026/9期
決算説明会	4回	4回	4回	4回	4回
1on1ミーティング	267件	232件	286件	230件	241件
証券会社主催グループミーティング	3件	3件	7件	15件	14件

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

Governance/ガバナンス

テクノロジーと金融バックグラウンドを軸にしたガバナンス体制を構築

業務執行取締役

杉山 憲太郎／代表取締役社長



システム業界にて14年間、金融業界のクライアントに従事。2014年よりGMO-PGを経て、2017年5月にGMO-FG入社。12月に代表取締役社長に就任

青山 明生／取締役 ソリューションパートナー本部本部長



システム業界にて21年間、金融業界のクライアントに従事。2018年4月GMO-FG入社、2018年12月より取締役に就任、ソリューションパートナー本部を管掌。2019年８月よりGMOデータ代表取締役社長を兼任

福田 知修／取締役 ITプラットフォーム本部本部長



システム業界にて18年間、金融業界のクライアントに従事。2019年9月GMO-FG入社、2020年12月に取締役就任、ITプラットフォーム本部を管掌

玉井 伯樹／取締役 コーポレートサポート本部本部長



大手銀行、事業会社にて営業・コーポレート業務に従事。2021年8月GMO-FG入社、2022年12月に取締役就任、コーポレートサポート本部を管掌

GMO-PG兼務取締役

小出 達也／取締役



システム業界にて35年間、公共・製造業界のクライアントに従事。2021年9月GMO-PG入社、GMO-FG取締役を兼任。2021年12月よりGMO-PG上席執行役員に就任

独立社外取締役

嶋村 那生／社外取締役（監査等委員）



法曹業界にて15年間、弁護士業務に従事。2019年9月社外取締役に就任(当社経営の重要事項の決定及び業務執行の監督を的確かつ公正に遂行できる知識及び経験を有しているため、監査等委員である社外取締役に選任)

浅山 理恵／社外取締役（監査等委員）



大手銀行グループにて36年間、金融関連業務に従事。2021年12月社外取締役に就任(ダイバーシティの推進や一般事業会社の取締役副社長としての経験を有しているため、監査等委員である社外取締役に選任)

長澤 孝吉／社外取締役（監査等委員）



システム業界にて36年間、金融・流通業界のクライアントに従事。2016年12月監査役に就任(内部統制システムの強化と取締役の職務執行の監査のため、監査等委員である社外取締役に選任)2019年８月よりGMOデータ監査役を兼任

小澤 哲／社外取締役（監査等委員）



システム業界にて46年間、企業経営並びに銀行業界のクライアントに従事。2016年12月監査役に就任(内部統制システムの強化と取締役の職務執行の監査のため、監査等委員である社外取締役に選任)

表記の定義：GMO-FG：GMOフィナンシャルゲート、GMO-PG：GMOペイメントゲートウェイ
*2025年12月31日時点における在籍役員について記載

役員のスキルマトリックス

企業価値向上に資する人財を役員として選任。監査等委員設置会社への移行とともに
特別委員会を新設。ガバナンス体制の更なる強化に取り組む

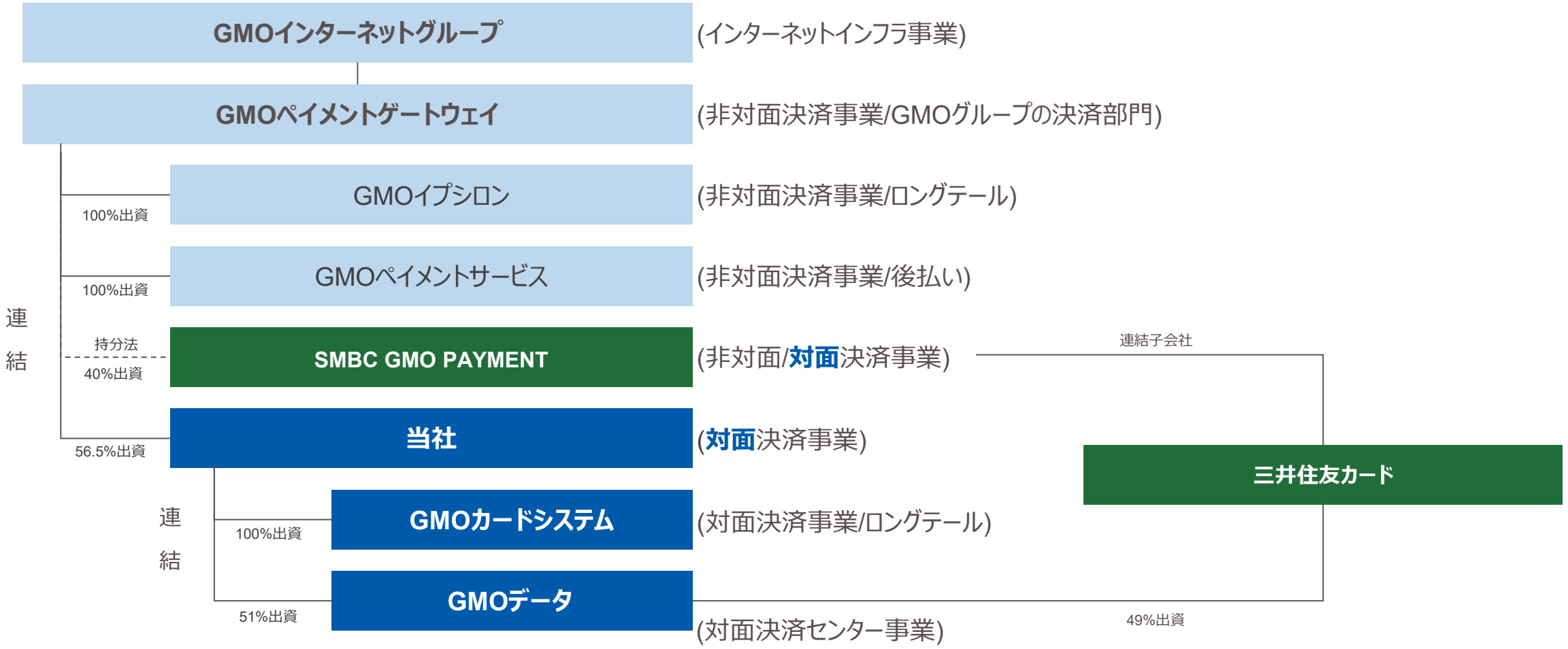
氏名[*1]	杉山 憲太郎	青山 明生	福田 知修	玉井 伯樹	小出 達也	嶋村 那生 社外 独立役員	浅山 理恵 社外 独立役員	長澤 孝吉 社外 独立役員	小澤 哲 社外 独立役員
役職名	代表取締役社長	取締役 ソリューションパートナー本部 本部長	取締役 ITプラットフォーム本部 本部長	取締役 コーポレートサポート本部 本部長	取締役	取締役 (監査等委員)	取締役 (監査等委員)	取締役 (監査等委員)	取締役 (監査等委員)
GMOイズム[*2]の実践	●	●	●	●	●	●	●	●	●
企業経営	●	●					●		●
システム・ セキュリティ			●						
リスク管理			●	●			●	●	●
法務・ガバナンス				●		●		●	●
財務・会計・税務				●					
営業・マーケティング		●			●				
投資 (M&A)				●					
金融事業							●		
人材育成・採用、 ダイバーシティ					●		●		
ESG・サステナビリティ				●		●	●		

(*1) 2025年12月31日時点における在籍役員について記載
(*2) GMOイズムとは、GMOインターネットグループにおける不変の目標である「スピリットベンチャー宣言」、「55カ年計画」のほか、「幹部の心得」、「勝利の法則」を表現した社是・社訓の総称

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

関係会社一覧

GMO-PGの連結子会社として、当社グループは対面決済分野を担う



Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

会社概要

■会社名	GMOフィナンシャルゲート株式会社		（東証プライム市場　4051）
■設立年月	1999年9月		
■所在地	東京都渋谷区道玄坂1-14-6　ヒューマックス渋谷ビル（受付7階）		
■資本金	1,638百万円（2026年９月30日現在）		
■主要株主	GMOペイメントゲートウェイ株式会社 ほか		
■役員構成	代表取締役社長	杉山　憲太郎	
	取締役	青山　明生	（ソリューションパートナー本部本部長）
	取締役	福田　知修	（ITプラットフォーム本部本部長）
	取締役	玉井　伯樹	（コーポレートサポート本部本部長）
	取締役	小出　達也	（GMOペイメントゲートウェイ株式会社 上席専務執行役員）
	社外取締役	嶋村　那生	
	社外取締役	浅山　理恵	
	社外取締役	長澤　孝吉	
	社外取締役	小澤　哲	
■監査法人	EY新日本有限責任監査法人		
■連結子会社	GMOカードシステム株式会社　持分100%		
	GMOデータ株式会社	持分51.0%（三井住友カード(株)49.0%）	
■事業内容	クレジットカード、デビットカード、電子マネー等のキャッシュレス決済インフラ提供事業		



据置決済型端末



モバイル決済型端末



組込型決済端末



加盟店POS端末



端末レス

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.

ありがとうございました

GMOフィナンシャルゲート株式会社

(東証プライム市場　4051)

IRサイトURL　https://gmo-fg.com/ir/

Copyright (C) 1999 GMO Financial Gate, Inc. All Rights Reserved.